合織糸・合織混紡糸

田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10－17
TEL 四日市 6—2156（代表）
郵便番号 512

宿願かけ、いよいよ開幕

オリンピックアジア地域予選

NOV.1971 JAPAN

世界の、日本のハンドボール関係者の宿願をかけたミュンヘンオリンピック（来年8月）。そのアジア地域予選がいよいよ11月14日から28日までの予定で幕をあける。

予選に参加する日本、韓国、イスラエルは10月10日それぞれ自信にあふれた選手エントリーをすませ、母国における最後の仕上げ練習に余念がない。韓国は11月13日、イスラエルは10日ともに空路東京入りと伝えられ〝決戦の時〟は刻一刻迫って来た。

日本代表（村田監督ら18人）は10月5日からの第一次合宿を皮切りに大会直前まで強化合宿をつづけ大目標達成に着々と成果をつみ重ねている。聖火燃えるミュンヘンへ。日本ハンドボール界が永年描きつづけた夢の実現はもう間近かだ!!

○……オリンピックでハンドボール競技が最初に実施されたのは一九三六(昭11年)のベルリン大会。この時は11人制でドイツ、オーストリア、スイス、ハンガリー、ルーマニア、アメリカの6ケ国が参加、ドイツが優勝している。

ミュンヘンで大会の採用は実に36年ぶりなわけだが、このほか聖火のもとでハンドボールが行われた記録としては一九五二（昭27）年のヘルシンキ大会の開会式後フィンランドとスウェーデンがデモンストレーション・マッチ（11人制）を行った一試合がある。

○……「オリンピックとハンドボール」の関係で見おとせないのは〝東京〟である。東京はオリンピックハンドボールを行う機会を2回もつかみながら逸した。

最初の機会は昭和15年9月21日から10月8日まで東京で第12回オリンピックを開くことに決まった時で、12年6月ワルシャワで開かれた国際オリンピック委員会（IOC）総会でハンドボール（11人制）を含む22競技の実施が承認された。その年の2月発足した日本ハンドボール協会は希望に胸をふくらませて13年5月には横浜市日吉の慶大グランドでオリンピック候補選手の第1回強化合宿を行ったが情勢の変化で、13年7月閣議によって「返上」が決議された。

○……2回目の機会は39年10月の第18回東京大会。34年5月ミュンヘンで開かれたIOC総会席上、東京オリンピックの開催が決まり28年ぶりにハンドボール（11人制）復活も約束された。ところが36年6月アテネにおけるIOC総会で、投票による実施種目決定が行われハンドボールは43投票中15票を獲得しただけで除外されてしまった。世界のハンドボール界、日本ハンドボール界にとっては悪夢のようなできごとであった（本誌5・7号参照）

○……待ちに待ったミュンヘン・オリンピックは300日後に幕をあける。初の7人制、主競技場近くに建設中だった一万二千人収容の大体育館も九分どおり完成している。桧舞台を目指す各国の意気は高い。

日本ハンドボール界もアジア地域予選を一気にかけぬけ、上位入賞を目標にしている。そして一九七六年（昭51）のモントリオール大会ではメダリストに……。果てしない日本ハンドボール界の構想への第1歩は、まずアジア予選から力強く踏み出されようとしているのである。

アジア予選日程

▷第1日（11月14日・東京体育館）
14時30分　開会式
15時40分　日本対イスラエル1回戦
（NHK教育TV　15.30—17.00全国中継）

▽第2日（11月17日・東京体育館）
18時　韓国対イスラエル1回戦

▽第3日（11月20日・大阪市中央体育館）
18時　日本対韓国1回戦

▽第4日（11月23日・愛知県体育館）
14時30分　日本対イスラエル2回戦
（日本の優勝かかる場合
NHKラジオ第1（交渉中））

▽第5日（11月26日・駒沢屋内球技場）
18時　イスラエル対韓国2回戦

▽第6日（11月28日・駒沢屋内球技場）
15時40分　日本対韓国2回戦
（日本の優勝かかる場合
NHK教育TV　15.30—17.00全国中継）

オリンピックハンドボール出場国（16ケ国）

区分	国数
▽出場権獲得国（ルーマニア・東独・ユーゴ・デンマーク・西独・スウェーデン・チェコ・ハンガリー）	8
▽アジア代表	1
▽ヨーロッパ代表	5
▽アメリカ代表	1
▽アフリカ代表	1

「ハンドボール」11月号（第92号）目次

【表紙写真】晴れのオリンピック予選代表（右上から横に木野近森、飯田、野田、下里、東、本田、早川、藤中、有永、斎藤中井、氷海、新実、大江、大村）

日本の優位動かず

～オリンピックアジア予選展望～

警戒要す韓国、イスラエルの執念

藤本　強

いよいよ斯界あげての期待をせおって、全日本チームの出場する〝ミュンヘンオリンピック・アジア地区予選〟が旬日のうちに迫ってきた。

五年前に始まった強化策が稔り晴れの舞台をふむことができるか失意の底に沈むかはこの二週間の四つの試合にかかっている。

韓国、イスラエルも十分に策を練り、強化を経てきて、虎視たんたんと36年ぶりの檜舞台をふまんと我が国に乗りこんでくる。

全日本チームは従来、力はありながら、今一歩何かに欠ける点も見られ、それが全日本選抜(6月)においても、スウェーデン戦（9月）においても、ファンの眼にはスッキリしないものを残していた

しかし、スウェーデン戦に於いて、守備陣も一応のメドがつき、GK本田とデイフェンス陣の連繋プレーにも円滑さが生れてきて、一応の自信がもてるところにこぎつけている。村田監督の念願であった〝良き守備から良き攻撃へ〟の基礎固めはできたと見て良かろう。

攻撃陣は従来の攻撃に加えて、左腕の有永、新実の成長が大きい。この二人の成長によって、攻撃がより巾広いものになってこよう。従来、攻撃力はかなりのものをもっていながら、ここ一発というところでの決め手に一沫の不安があったが、両左腕によって攻撃の巾ができ更に6月7月の日韓学生で実績のある大江が新に加入し勝負強さを発揮できることになれば、攻守とも技術的にはまず不安はないと言ってよかろう。

問題はここ一発という時の精神面であろう。韓国、イスラエルとも、歴史的に見ても、現状でも、常に緊張状態にあることを余儀なくされている国である。また強烈なナショナリズムの発揚という点では我が国とは比べものにならない。幼時より、ナショナリズム教育をたたきこまれたチームとそうでないチームの間にはどうしても精神面である程度差のでることはやむを得ないことかもしれない。しかしながらやむを得ないといっていてはどうにもならない。一人一人がコートに出ているものもベンチにいるものも、スタンドにいるものも力を合せ、この精神面でのマイナスをカバーしここ一発の気力をふりしぼることこそ〝ミュンヘンへの道〟につながろう。

対する韓国は強烈なナショナリズムに支えられるとともに、対日感情をベースにした日本への強烈な対抗意識が火のようなファイトとなってぶっかってこよう。

まして、ここのところ上昇ムードに乗り、他競技でも日本を破っている韓国スポーツ界、野球（アジア社会人大会）、サッカー（東アジア地区五輪予選）に続けとばかり、ファイト満々で臨むことであろう。

日本チームのスウェーデン戦を姜コーチがじっくりと偵察し、秘策は充分と見て良いであろう。

ベールにおおわれているだけにそのナショナルチームの登場は興味津々たるものがあると同時にきわめて無気味でもある。学生が主体となっていると伝えられている

日本協会強化の足跡

年月	内容	人数
41. 9	オリンピック強化選手（第6回世界選手権候補）	28人
41.10	第6回世界選手権代表	15人
42. 9	対西ドイツ戦全日本編成	15人
43.12	第7回世界選手権第1次候補（全国からの推せん，リストアップ者 98人）	40人
44. 2	同第2次候補（欧州遠征）	17人
44. 3	全日本強化選手（ナショナルB）	23人
44. 9	第7回世界選手権第3次候補	21人
44.12	第7回世界選手権代表	14人
45. 4	オリンピック（予選）第1次候補（45. 9 一部手なおし）	18人
45.12	同第2次候補	17人
46. 8	同第3次候補	19人
46.10	オリンピック予選代表決定	16人

が、国内の政情不安でその学生陣が全員登場できるかどうか、この辺にもどのようなメンバーで来日するのか、全く無気味である。

現在、大邱の体育館で合宿中とのことである。どのように仕上げられているのだろうか。

これに対するイスラエル、やはりかなりの力をもったチームということができよう。

11月上旬、10日間ルーマニアに遠征し、そのまま来日すると伝えられている。強化策に余念がない。

ナショナルチームのメンバーのなかには、昨年の世界選手権の帰途テル・アヴィヴで対戦した選手がかなり含まれているが未知数の選手も多い。

GKのセラ（主将）の長身を利した堅守には昨年のイスラエルでの対戦の時にも苦しんでいる。テクニシャンのテネンバウムはヨーロッパでもかなりの評価を受けているし、イスラエル国際大会（4月）に大活躍をし、その優勝の原動力となったヤリミも健在で、ますますプレーに磨きがかかってきているという。

長身の新鋭、リクソン(194)、テルオル(192)の実力がどのくらいついているか不明であるが、新鋭だけに調子にのせるとうるさいことになろう。

イスラエルも強烈なナショナリズムが支配している。国際舞台にも、数少い登場であり、一流国との対戦では大きく水をあけられている。

国際舞台を踏んでいる点と技術という点では、我が国が両国を大きく引きはなしているといってよかろう。順当に行けば、我が国の優位は明らかである。しかし、このような大会では、〝勝利への執念〟が大きくものを言う。この点では、韓国、イスラエルとも並々ならぬものをもっている。どんなことをしてでもという場面がタイトル、ましてオリンピックという栄光が眼の前にある大会では、生じよう。これに気遅れするようでは、とても勝利は覚つかない。

〝ラフ・プレー〟などもしばしばおころう。こうしたプレーに妨げられ、日頃のプレーがでず、逆に焦るという事態におちいったならば、前途は悲観的である。

両国との第一回戦に両チームを徹底的にたたきつぶし、一点でも二点でも多く点をもぎとり、相手の得点は一点でも二点でも、石にかじりついてでも少なくし、大差をつけることをまず第一目標に、コート・ベンチ・スタンドの三者一体となった〝ミュンヘンへの道〟をつき進む必要があろう。

〝目標達成〟に絶対の自信

監督　村田　弘

「ミュンヘンオリンピックは、吾々ハンドボール界のためにある」といっても過言ではない。どんな事があっても出場しなければならない。それにはアジア予戦に勝つことだ。この一年間に味わった苦しみと試撰はアジア予戦のためにやってきた。必らず勝ってハンドボール界に答えたい。

先日田村会長が選手団に重大な責任を自覚し、愛国心に燃え頑張るようの激励と現在日本は技術は一番精神力は三番だろうから、精神力の強化を強調された。全くその通りである。

イスラエル、韓国とも強い国家意識を持っている。これに負けないよう、勝利の執念を燃やし、チームワークをよくし、出場権獲得を目指し、死物狂で頑張りたい。

先づ十四日イスラエルとの第一戦を勝ち取ることだ！

一点に泣いた一年半を一挙に

コーチ　竹野奉昭

ミューヘン出場を賭けた、フランスの世界選手権で、一点に泣いて一年半、アジア予選に勝つことだけを目標に今日まで、一人一人の基礎体力を養いつつ、基本技術の反復練習の合宿で、宿泊を重ねるたびに、選手自身が意欲的になってきている。又精神的にも何か重圧した感があったが、自分達、十六人が、やるのだと心の余裕等が、出てきていることは誠に嬉しいことである。

イスラエル、韓国ともにそれぞれ異ったチーム・カラーがあり、情報、資料をもとに最後の仕上をして望みたい。

ゲームは勝つためにやる!!全国のハンドボール最好者の皆様の、期待にそえる様一戦一戦ベストをつくし頑張りたい。

韓国の申しこみ遅れる

アジア予選の第2次エントリーは10月10日に〆切られたが、韓国協会は9日、東京の日本協会荒川清美理事長に国際電話で「国内事情のためどうしても10日までにメンバーを決定できない。10月下旬まで申しこみを延ばして欲しい」旨を伝えて来た。

日本協会では11日夜、緊急「在京」常務理事会を開き、この問題を協議、その結果「韓国内の政治的事情などに起因した延期申請である。6月10日のナショナルエントリーが完了している。代表チームの来日が同電話で確約されている」などから、韓国協会の申し入れを認めることになった。

※

韓国側の突然のエントリー申しこみ延期要請は荒川理事長の説明と推測によると、9月末からくすぶっている韓国政府と学生の衝突に原因して、政府がかなり強硬な手段をとったため、現役学生選手の多いと予想される韓国ナショナルチーム編成に影響を与えたのではないかという。

政府側は15日には大学の秩序保持のため衛戍令（えいじゅれい）まで発したと伝えられている。

全日本代表の横顔

データは位置、背番号、選手名、勤務先、年令、身長、体重、出身校(球歴)、国際公式試合出場回数 ※これまでもっとも印象に残る試合 ☆プロフィールの順(写真は表紙参照)

GK① 下里 敏彦

大崎電気、25才、身長184cm、体重73K、熊本市立白川中—熊本市商(球歴11年)、国際公式試合出場20回。※昭和44年7月タシマイダンカップにおける対ユーゴ戦、1点差(19—18)の勝利。

☆……静かなものごし、しかし内に秘める斗志はすばらしい。名GK福本弘(現大崎電気女子監督)のカゲで耐え、そしてつかんだ栄光、その地味な努力は大いに買えよう。一昨年タシマイダン杯のユーゴ戦で7MTをことごとくさばいた美技は、しばらくヨーロッパ球界を騒がす話題となった。

GK⑫ 本田 洋

大阪初芝高教員(大阪イーグルス)、24才、178cm、75K、堺市立三国丘中—堺工—日体大(球歴10年)、19回、※45年12月学生最後の試合となった全日本選抜における対埼玉教員ク戦

☆……国際的な実力の持ち主。旺盛なファイトに裏づけされた勇敢なキーピングはチームメートの信頼度も高い。天才的な面もあるがなにより彼を支えているのはあくなことを知らぬ研究心だろう。指導者としても将来に大きな期待の寄せられる一人である。

GK⑯ 大村 久

日体大研究室(全日体大)、23才、178cm、73K、山梨市立日下部中—塩山商—日体大(球歴11年)、1回、※45年12月の全日本選抜選手権、初めての全国優勝

☆……本田と同期。若々しいプレーぶりと試合展開の読みには定評がある。

FP② 飯田 誠行

大崎電気、26才、188cm、78K 京都市立松原中—伏見工—同志社大(球歴12年)、27回、※44年7月タシマイダンカップにおける対ユーゴ戦の勝利

☆……ナショナルプレイヤーでは球史最長身。大砲として早くから大成が期待され、大崎電気に入社後、その素質をいっそう伸ばしている。国際的なアタッカーへと成長するには今一歩の安定感と迫力が欲しい。

FP③ 有永 修二

東京海上火災、23才、187cm、84K、西宮市立甲陵中—西宮東高—立教大(球歴9年)、10回、※高校1年冬の初の公式戦出場でつかんだ初勝利、同時にこれは西宮東のハンドボール部創立初の公式戦でもあった。

☆……左腕からのシュートは豪快の一語につきる。昨年、関東学生の一員として韓国学生と対戦した時韓国、洪副会長は『アジアの生んだこれまで最高の選手』と激賞、内臓、ヒザなど致命的な故障をくり返しながらそれを克服した気力もみごとだ。

FP④ 近森 克彦

大崎電気、26才、183cm、78K 山口富田中—徳山高—芝浦工大(球歴12年)、29回、※44年7月のタシマイダンカップにおけるユーゴ戦の勝利はルーマニア合宿で得た自信と経験が活かされ、この時ほどチームが一つにまとまって戦ったことも初めてだった。試合後ルーマニアやハンガリーの選手まで日本の勝利を喜んでくれたことにスポーツマンの素晴しさを感じた。また決勝点となった19ゴール目を自分でマークしたことも印象的。

☆……昨秋10月から8ケ月〝ハンブルグ・スポーツ〟に加って西ドイツリーグに出場、〝ファイン・シュピーラー〟(一流選手)の折り紙をつけられた。芝浦時代からファイタータイプだったがヨーロッパの激斗に明け暮れ、いぜんにもましてプレーに迫力が加わった。セオリストとしても得難い人材に成長している。

FP⑤ 斎藤 光男

群馬榛名高教員(群馬教員ク)、22才、183cm、83K、群馬甘楽一中—富岡高—日体大(球歴8年)、10回、※大学生活最後の45年12月の全日本選抜で優勝を飾れたこと

第20回オリンピックハンドボールアジア地域予選会要項

一、大会名。第20回オリンピックハンドボール競技アジア地域予選会

二、期間。一九七一年十一月十四日(日)〜二十八日(日)

三、場所。日本(東京、大阪、名古屋の3都市)

四、参加資格。一九七〇年度国際ハンドボール連盟加盟国でアジア地区に属する国

五、競技方法。各国総当り2回戦

六、競技規則。一九七〇年国際ハンドボール連盟規則

七、順位決定の方法。ポイントシステム(勝ち2点、引分け1点、負け0点)。ただしポイント同数の場合は4試合の総得点数と総失点数の差、さらに同差の場合は4試合の総得点数

八、チーム構成。監督1、コーチ1、選手世話係1、ドクター1、選手16の計20名。

九、審判員。国際ハンドボール連盟の指名する審判員による

十、公式計時員。国際ハンドボール連盟指名の日本協会審判員。

十一、公式記録員。日本協会審判員による。

十二、トラブル。国際ハンドボール連盟から派遣される代表者が処理する。

(以下略)

☆……スケールの大きい攻撃力を誇るが、飯田同ようもう一つ安定感が欲しい。

陽気で明かるい性格だが、いい意味でのラフさをもつことが、今後の成長のカギとなるのではなかろうか。

FP⑥ 木野 実

ワクナガ薬品 25才 180cm 75K、大阪市立旭東中ー寝屋川高ー立教大(球歴11年)、29回 ※44年7月ルーマニア遠征後ユーゴに転戦、タシマイダンカップでユーゴを1点差で降した一戦。勝つて泣いたことは初めて。チーム全員抱きあって涙した感激、試合終了は夜の10時30分だった。

☆……史上最高といわれる技心体揃った国際的プレイヤー。

ホープ、ホープと騒がれているうちにナショナルチームの古参株になってしまい今回は主将の重責も荷う。

プレーはますます円熟し、つねに気力に満ちた攻守を示す。41年9月中国戦でデビュー以来、国際公式試合29連続得点(通算121点)の快記録をつづけている。

FP⑦ 早川 清孝

ワクナガ薬品、25才、180cm、73K、福岡玄海中ー博多工ー日体大(球歴11年)、16回、※44年7月タシマイダンカップにおけるユーゴ戦の勝利

☆……渋いプレー、冷静な展開力が持ち味。いぶし銀的な存在だ。

FP⑧ 中井 武三

大同製鋼、22才、180cm、73K 京都市立八条中ー伏見工ー同志社大(球歴11年)、9回 ※41年10月大分国体準決勝の伏見工対明星(東京)戦

☆……同志社大時代から派手さはないが着実なプレーとリードマンシップに定評があった。

オールラウンドタイプへの成長が期待されており、攻撃面で積極さが加われば木野の後継者として全日本の要(かなめ)になれるだろう。

FP⑨ 新実 俊夫

芝浦工大4年、22才、181cm、77K、名古屋本城中ー桜台高(球歴8年)、2回、※今秋の対スウェーデン大阪大会

☆……貴重な左腕。高校時代から好素質をうたわれていた。スウェーデンから1勝をもぎとる口火を切り自信を強めている。童顔のぬけ切らぬ彼のラッキーボーイぶりは今シリーズでもいかんなく発揮されそうだ。

FP⑩ 氷海 正行

日体大4年、21才、180cm、76K、東京深川五中ー明星高(球歴9年)、3回 ※今春4月の日体大対グンメルスバッハ戦は自分にとって欧州チームとの初対戦であり、フルタイム出場をはたした。

☆……玄人好みする選手。スウェーデン・マットソン監督も「氷海の堅実なプレーは全日本に欠かせぬもの」とほめた。

守りの強さ、巧さは随一だが、ビッグゲームにおける機敏な攻撃力も鮮やかで捨て難い。日体大の現役主将。

FP⑪ 東 一敏

大崎電気、26才、179cm、71K 熊本市立花陵中ー熊本市商ー立教大(球歴11年)、19回 ※39年8月全日本高校決勝で明星(東京)に敗れた試合

☆……大試合になるほど底力を出す。立教時代から彼の伏兵的な活躍は目立っていたが、それも冷静な判断力によって初めて生むことができる。

当時に比べて鋭さがやや欠けて来たが、その勝負強さは全日本になくてはならぬ一人である。

FP⑬ 藤中 憲二

大同製鋼、23才、178cm、72K 山口天尾中ー岩国工ー日体大(球歴11年)、15回、※43年7月全日本学生準決勝・対立教戦

☆……4年前、当時日体大監督だった荒川理事長に「ホープは？」とたずねた時、まっ先に名をあげたのが藤中だった。シャープな攻守は大同に入社後いちだんと冴えている。近い将来、全日本の中心選手となろう。

FP⑭ 大江 隆夫

芝浦工大4年、22才、170cm、67K、山口岩国東中ー岩国工(球歴8年)、2回、※42年10月の埼玉国体で明星高に敗れはしたがチーム一丸となって頑張った試合

☆……スピード豊かな巧技は早くから注目されていたがナショナル入りは今夏8月、そして一気に晴れの座についた。

FP⑮ 野田 清

大同製鋼、25才、168cm、65K 名古屋守山西中ー愛知工ー立教大(球歴14年)、22回、※45年3月第7回世界選手権でユーゴと引き分けた試合

☆……「飛身臥地、美妙動作」ー昨年全日本の一員として台湾に立ち寄った時、地元紙は彼をこう形容した。空間に身を躍らすアクロバテイックなプレーは独壇場、近頃ではサイドの彼にボールが廻るとスタンドから〝期待の歓声〟が湧くほどだ。

イスラエル選手名簿

▽監督 シュムエル・シオベルマン(33才)

▽コーチ ヤコブ・センドラー(32才)
過去公式国際試合出場19回という経験の豊かさを買われている。

▽GK①エッド・セラ(25才) マッコビ・ラマッ・ガンクラブ
190cm、87K。長身を利した防禦には昨春対戦した全日本も苦戦

▽GK①ダニイ・ロルトマン(25才) ハポエル・ラマツ・ガンクラブ
180cm、75K。セラとともにイスラエルの中では国際経験も多い。

▽GK①ラミイ・ステイガー(23才) ハポエル・レホボットクラブ
182cm、77K。今春のイスラエル国際大会で活躍の若手

▽GK①エズラ・グランツ(26才) ハポエルペタ・テイクバクラブ
175cm、80K。控え戦力、特に球歴なし

▽FP②エシヤヤフ・ヤリミ(31才) ハポエル・レホボットクラブ
183cm、73K。イスラエルきってのスタープレイヤー。ベテラン。

▽FP③エッド・ブラドミスルスキー(18才) グファル・メナヘムクラブ
182cm、77K。国際試合初登場の新鋭

▽FP④ゲルション・テネンバウム(24才) マツカビ・テルアビグクラブ
176cm、73K。イスラエル攻撃陣の主軸、国際試合の経験も多い

▽FP⑤イゴール・ビアリック(27才) ハポエル・ラマツ・ガンクラブ

韓国選手名簿

▽団長 崔 渡喆(50才) 大韓民国ハンドボール協会副会長

▽監督 姜 仁燮(32才)
成均館大—慶北大で鳴らした名手、現役時代 成均館大コーチとして二度来日。研究熱心な指導者だ。

▽コーチ 金 鎮河(33才)
9月のスウェーデン戦に偵察に来日したコーチングスタッフの一人

▽マネジャー 徐 康錫(33才)
選手として来日が予想されたほどの人。シャープな攻撃力を誇った名選手

▽GK①金 永年(19才) 180cm 75K 学生(成均館大)
韓国学生界のトップ・キーパー 昨年来日している。

▽GK⑫金 鉉昌(26才) 174cm 68K 教師
慶熙大時代から老巧なプレーに定評があった選手

▽FP②黄 致範(22才) 179cm 73K 学生(慶熙大)
金弘植と並ぶ韓国学生界の主力アタッカー、今回もエースか。

▽FP③全 福守(24才) 174cm 66K 軍人
かつて、慶熙大で活躍したテクニシャン

▽FP④金 栄会(19才) 173cm 65K 学生(慶熙大)
多彩な攻撃技術をもつオールラウンドタイプ
慶熙大ではGKもつとめる

183cm、80K。スケールの大きなプレーを見せるオールラウンドタイプ

▽FP⑥ギョラ・ベン・アリ(24才) ハポエル・レホボットクラブ
167cm、68K。発表された体格からすればテクニシャンか

▽FP⑦エリ・マーカー(18才) クファアル・メナヘムクラブ
186cm、75K。この大会が国際公式戦2試合目のという新進

▽FP⑧シュロム・ホフマン(20才) ペタ・テイクバクラブ
177cm、63K。将来イスラエルの主軸となるべき若手有望株

▽FP⑨アミカム・リツクリン(25才) マカビ・ラマット・ガンクラブ
194cm、95K。チーム随一の体躯を誇る。動きがよければ警戒を最も要そう

▽FP⑩ズビ・テル・オア(19才) クファアル・メナヘムクラブ
1m92、79K。長身を利した攻撃で将来を期待されているアタッカー

▽FP⑪モシエ・ウエングロウイッツ(23才) ペタ・テイクバクラブ
1m80、80K。攻守にバランスのとれたプレーをみせる

▽FP⑫ベニャミン・ナアマン(21才) マッカビ・レ・ジオンクラブ
172cm、69K。若さに似ぬ渋いプレーで定評がある。

▽FP⑬ダビッド・エラザリ(24才) クファアル・メナヘムクラブ
182cm、70K。ミドルシューター、守りの巧さでも貴重な存在

▽FP⑭アイタン・アドモニ(20才) ハポエルレホボットクラブ
180cm、78K。最近頭角を表して来た新鋭

▽FP⑯アキバ・レフラー(24才) ハポエル・ヘルゼリアクラブ
186cm、86K。ポイントゲッターの一人

▽FP⑤宋 錫仁(24才) 178cm 78K 軍人
昨夏成均館大の主将として来日。左腕の強シューター。すばらしい斗志とジャンプ力を誇る。

▽FP⑥李 鍾范(21才) 172cm 70K 学生(円光大)
将来が期待されている攻撃者

▽FP⑦柳 在忠(23才) 178cm 74K 教師
今夏まで慶熙大現役の主力

▽FP⑧金 成憲(18才) 165cm 56K 学生
今夏東亜高の一員として来日、日本の関係者を驚嘆させたテクニシャン

▽FP⑨孫 泰烈(20才) 175cm 69K 学生(成均館大)
昨年成均館大のメンバーとして来日、ミドルシュートに威力

▽FP⑩朴 鍾甲(25才) 177cm 69K 教師
今夏まで慶熙大の現役で活躍

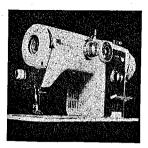
▽FP⑪金 弘植(23才) 178cm 66K 学生(円光大)
韓国学生界の中心選手。今夏訪韓した全日本学生戦で7点(3試合)をマーク

▽FP⑬秋 章云(21才) 170cm 66K 学生(朝鮮大)
韓国学生界の新進校・朝鮮大のリード・オフ・ファン

▽FP⑭車 聖福(17才) 181cm 77K 学生
金成憲とともに東亜高のメンバーで来日、高校生ばなれしたスケールの大きい攻撃が印象的

▽FP⑮李 錦求(18才) 176cm 76K 学生
これまで全く資料のない新人

審判はスウェーデン・ペア

ホルル委員長も初来日

国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）は10月8日ローマで技術委員会を開き、オリンピックアジア地域予選への派遣役員を次のように決め発表した。

▽ＩＨＦ代表　エミール・ホルル（スイス、ＩＨＦ技術委員会委員長）

▽審判員　ハンス・カールソン、ライフ・オルソン（ともにスウェーデン）

なお、マックス・リンケンバーガーＩＨＦ会計理事が一行に随行する。

ホルル技術委員長の来日は初めてだが、国際ハンドボール界における同氏の発言力、特にオリンピック、世界選手権などの運営面をも含めた技術サイドでの〝地位〟は圧倒的なものがあるだけに、日本及びアジアハンドボール界にとって大きな意義があるといってもよい。

両審判員は9月来日のヤーネルスタム氏（スウェーデン）とともに現代最高と定評のあるレフェリーである。なお、ホルル、リンゲンバーガー氏は13日、両審判は12日に来日の予定

売れ行き好調の入場券

オリンピック予選の入場券は9月26日の東京大会分前売りを皮切りに各チームへのダイレクトメールによる予約受けつけ、主要大会々場などでの販売によって順調にその売れ行きを伸ばしているが、各会場とも若干の当日売りを残して11月に入ってからも前売りをつづけることになり、まだ買い求められていないファンの申しこみを期待している。各試合日の入場料金は別表のとおりだが、第3日（大阪）、第4日（名古屋）の前売り料金は次のように百～二百円引きとなっている。

▽大阪大会前売り料金　特別席一二〇〇円、一般席八〇〇円、中高校生席四〇〇円

▽名古屋大会　特別席一〇〇〇円　一般学生券六〇〇円　高校券四〇〇円、小中学生券三〇〇円

入場券についてのお問い合せは日本ハンドボール協会（東京467－七〇九七、渋谷区神南1の1の1）まで。

◇入場料金（当日売り）

	A席	B席	中高校生席	
第1日 第2日 東京体育館	一〇〇〇円	五〇〇円	三〇〇円	
第5日 第6日 駒沢屋内球技場	一〇〇〇円	五〇〇円	／	
	特別席	一般学生券	中高校生券	
第3日 大阪市中央体育館	一五〇〇円	一〇〇〇円	五〇〇円	
	特別席	一般学生券	高校生券	小・中学生券
第4日 愛知県体育館	一二〇〇円	七〇〇円	五〇〇円	四〇〇円

アジア代表者会議も開催

アジア予選会期中、懸案のアジアハンドボール連盟（ＡＨＦ、仮称）問題を協議するための第2回各国代表者会議が東京で開かれることになり、日本協会では11月15日午前10時から（会場未定）と決めた。

実行委を編成

日本協会ではアジア予選の円滑な運営と期間中のトラブルなどの解決をはかる機関として「実行委員会」を編成しそのメンバーを次のように発表した。なお、各試合の実質的な運行は各大会委員会によって遂行する。

▼実行委員会▽会長　田村正衛（日本協会々長）▽副会長　野原成之亮（大阪協会々長）、林達夫（愛知協会々長）▽ＩＨＦ代表者、Ｅ・ホルル、Ｍ・リンケンバーガー

▽実行委員長　荒川清美（日本協会理事長）▽実行委員会顧問　洪淳泰（韓国協会副会長）、渡辺和美（東京協会々長）、イスラエル代表未定▽実行委員　杉山茂、嶋田新太郎（以上日本協会常務理事）、神田清（大阪協会理事長）、栗脇嶷（愛知協会理事長）、▽審判員、Ｈ・カールソン、Ｌ・オルソン（以上スウェーデン）

欧州予選は来春3月

国際ハンドボール連盟（ＩＨＦ）はミュンヘンオリンピック各地域（大陸）予選の日程を次のように発表した。

▽アジア　11月14日～28日　別掲

▽アメリカ地域　47年1月25日～30日　参加4ケ国（ワシントン）

▽ヨーロッパ地域　47年3月15日～24日　参加16ケ国（マドリッド）

▽アフリカ地域　47年3月25日～30日　参加6ケ国（チュニジア）

オリンピックアジア地域予選　全日本代表を激励する

大庭　泰（長崎県立佐世保北高3年）

いかなるスポーツにせよ、参加するからには勝たねばならない。プレーやそしてプライドが要求される。

そのかげには、秘められている幾多の血のにじむようなハードトレーニングと心技に及ぶ個々の力の結果が成果として報いられている。

そして、それが輝かしい栄光への座の門戸へ導いてくれるのである。

ミュンヘン・オリンピックアジア予選をむかえられる全日本選手の皆さんにとって、目下確信と不安とが交錯する中で、来たるべき日に備えて連日厳しいトレーニングをつみあげて、ベスト・コンディションへ調整の最中だと思われます。もちろんそれが歓喜となるが、悲哀となるか、まだなんびとも決定することはできません。

ただアジア予選いや、ミュンヘン・オリンピックにおいて全日本の選手の皆さんに頑張ってもらわないことには――ハンドボール競技というものが日本で発展するか否かの瀬戸際に立っているのです。

たとえばサッカーやバレーボールなどがよい例です。それらはオリンピック三位になって以来急激に日本で普及しました。今や4歳の子供までサッカーの釜本、バレーの大古・森田といって憧れています。先日テレビでハンドボールを見ていると、解説者がこのようなことを言いました。「いやまさに木野はハンドの釜本ですね」と。ぼくは何だか腹だたしくなりました。そこでですが、我々高校生にとっては皆さんに今度のアジア予選でぜひ勝ち抜いて欲しい、いや勝ち抜いてもらわねばこまると思っております。そしてオリンピックでは上位進出を狙って行き着く所は当然優勝をと期待しています。そしてサッカーなどがテレビで放映されている時、解説者にこう言わせるようにしてください。「いやまさに釜本はサッカーの木野ですね」と。このように理想を常に一歩高く構えて試合に臨んでください。そしてその理想が現実になるのは今日か明日かという期待と焦燥のうちにそれにつながる大会のルネッサンス―ミュンヘンオリンピックまでの日数は矢のように飛びつつある。それまでの日数を春の日の雪とされないようにしてください。確かにそれまでの練習は苦悩への道かもしれません。しかしその目的は苦悩という上に立っているのだから絶対にそれを乗り越えてもらいたいものです。それを乗り越えたその時栄光の金メダルが輝いているのだから……。最後に、全日本選手団の皆さんのご健闘を祈ります。

村上佐智子（山陽女子高3年）

全日本のみなさん、ただ一言、アジア予選では頑張って下さい。未熟な私達にはこれだけのことしか言えません。ですから、練習そのままのプレーを出し切ってほしいと思います。そして勝つという信念のもとに、つまり精神面で相手に勝つということも必要だと思うのです。生意気なことを述べたようですけれど、これはいつも私達が監督に言われていることなのです。プレーが良くても精神が弱ければ勝てないと。

アジア予選を無事に通過し、オリンピックに望むということは、大変なことだと思います。しかしこのことは、これからの日本のハンドボール界に大きく響くのではないかと思います。日本のハンドボール発展に大きく貢献することと思われます。また私達のようにハンドボールを手にして二、三年という「たまご」にとって、これからどのように成長して行くか。これはこのことと大きく結びつきます。「たまご」のままで終わってしまうか。また「たまご」からひなにかえり親鳥に至り、金の「たまご」を産み落とすまでに成長するか。からの外が強ければ強いほど外にひかれ、からを破って出ようとするのです。強ければ……と一口に言うけれど、大変な努力がいることはわかっています。私達だって同じようにハンドボールをやっているのですから、せまい島国の中で、今、多くの人々がハンドボールに汗を流しているのです。このちっぽけな島国で一番になろうとひしめき合っているのです。こんな私達だって頑張っています。ちっぽけな日本から脱出して大きな世界に望む全日本のみなさん、ご健闘をお祈りします。そして、次の世代にハンドボールをやっていく、私達に大きな希望を与えて下さい。

オリンピックアジア地域予選　全日本代表を激励する

伊藤寿花

（名古屋市立笹島中学2年）

ハンドボールに魅力を感じ、引きこまれる私。その魅力とは、短時間で十分スリルあるゲーム、そして初めから楽しめるよさがありグランドが小さく都会の様な狭い校庭でもプレーができることだ。そんなわけで、今までに学んでいないスポーツとしての好奇心も強く、去年の春からはじめたのだがなかなか厳しい。思い通りにいかずに困った点がいくつもある。私の場合は、シュート時の腕の高さに問題があり、身長は160センチあるのだが、打点が低くなかなかなおらない。

練習内容はおもに、シュート、フェイント、三・四人の攻撃練習速攻などと、いつもチームワークを考えながら、力いっぱい第一に練習、第二に練習。だからいろいろ学びたい所がいくつもある。

そのひとつに、この間四月十日の大同製鋼と西ドイツの国際招待試合で野田、藤中、中井選手の大いなる活躍ぶり、特に野田選手の技術的にすばらしいサイドからのたおれこみシュート。あのシュートがうたれるたびに、体育館の観衆が「ワーッ」とわき、私たちはそれをこの目で見て、ただおどろくばかりである。次回のアジアオリンピック予選、日本対イスラエルの試合はぜひ応援にそろって行きたいと思う。攻撃のしかたや、シュートのコース、個人のプレーなどいろいろ見たい。そして、これが真のスポーツ、ハンドボールだと、世界じゅうに教え、またいっそう印象深いものにさせるために、今までのすさまじい練習の成果。実力を存分はっきりして、オリンピックに参加してほしい。

ハンドボールを愛し、大きな希望と夢をいただいているものにとっては、それが励みになり、輝かしい発展と、記録になるだろう。

日本ハンドボールがますます世界へとはばたき、今後の飛躍的発展が期待されるであろう。

川崎京子

（大阪堺市立福泉南中学）

「いやになればいつでもやめればいいのだ」と、軽い気持ちではじめたハンドボールが、試合を重ねてゆくうちに徐々に楽しくなり、勝った時の喜びを知ってからは、もう夢中になって練習しました。そしてやる限りは、近畿大会に優勝するんだといつも自分にいいきかせながらがんばりました。でも今年の夏休みの合宿で、どうしたわけか身体をこわし、近畿大会を目前に入院生活を送ることになってしまいました。〝近畿制覇〟という宿願達成を前にしてこういうことになるのはスポーツマンとして失格です。でも私はあきらめませんでした。目標達成の為にこの三年間、きびしいトレーニングに耐えてきたのですから。私だけではなく、チーム全体が最低のコンディションでしたが、何とか念願を達成することができました。

全日本の皆様に比べれば、比較にならぬ程の小さな目標であったかもしれません。しかしハンドボールを続けてきたことによって、私はいろんなことを知り学びました。そして今「苦しみなしにはいかなる幸福もありえない」ことをしみじみ感じています。全日本の皆様は今大変な苦しみの中にいることと思います。日本のハンドボールのこれからが皆様の双肩にかかっていることの責任を痛感されていることでしょう。しかしその苦しみにぶちあたって、世界への道をひらいて下さい。栄光の座を皆様の手で勝ちとって下さい。

私達は皆様に何もできません。でもアジア予選の時は大声はりあげて声援致します。声の続く限り叫びます。私達中学生がどんどんあとから続いてゆける道をこの大会できりひらいてほしいと思います。頑張って下さい。

読者代表　植田　修司

来るべき日を迎えた。とでもいおうか。待ちに待った日が来たとでもいおうか。

斯界で初めてという長期的な強化体制、そして挙国体制。全日本代表チームは単独チーム同ようの〝一つの固まり〟に成長されたと思う。

怖いモノはないハズである。相手におくれをとる不安はないハズである。

自信をもって突き進み、総ての関係者が夢にまでみたオリンピックへの出場を果たして欲しい。

一部に韓国、イスラエルの国家的背景に支えられた執念、斗志は侮れない、というみかたがあるやに伝えられる。

私は、全日本が両国に優るのは斗志であり気力である。とみている。

本場ヨーロッパに近いイスラエル、ボールゲームセンス抜群の韓国、技術、戦術面ではむしろ日本を上廻るのではないか。

〝勝負〟の岐れ路は気構えだ。全日本諸兄には周到な準備とトレーニングに培われた〝燃える魅〟が植えつけられているだろう。

それこそ、なにものにも代えがたい〝戦力〟であることを改めて知り自信をもって大会へ臨んでいただきたい。

勝利はあなたがたの手の中にあるのだ。それをしっかりと摑めばいいのだ。自信と勝つという執念をもってこの大会を、この4試合を堂々と全勝してもらいたい。

前売り好調の入場券

日本協会では11月5日、アジア予選東京大会の入場券について中間発表した。予想以上に前売りが伸び、特に14日と28日の当日売りは各席100枚程度になりそうだ。また大阪協会は11月10日から19日まで美津濃プレイガイド（淀屋橋）で一般前売りを行うと発表した。

第4回世界女子選手権展望

第4回世界女子選手権は今冬12月11日から19日までオランダのアーンヘム市、ユトレヒト市などで開かれる。

一九六八年に予定された大会が国際情勢の影響で流会となり6年ぶりの開催、満を持して参加する9ケ国の激斗に早くも世界の注目が集っている。

全日本代表（山田計監督ら17人）は5月のメンバー決定以来すでに5次52日の合宿で約320時間の強化練習をつみ、宿願のベストシックス入りに自信満々の表情である。

予選リーグにおける日本の相手は西ドイツ、デンマーク。精選された出場国のなかではもっとも戦いやすいタイプ。大いにその活躍が期待できる。

大会までまだ日はあるが、全日本は欧州各地を転戦してオランダ入りするため11月2日22時5分羽田を発った各国の情勢と展望をしておこう。

【杉山　茂】

女子界、久々に活気

〝ミュンヘン〟という大きな光のカゲにこのところ女子はあまりにも不遇であった。

久々の世界選手権であらゆる関係者がこれまでの遅れをとりもどそうとする努力をつみあげているようでなかでも国際ハンドボール連盟（IHF）が、この大会を契機に懸案のオリンピックに女子種目参加をいっそう積極化させることになり、出場9ケ国に対し、宿願実現へ大きく前進できる内容展開を呼びかけたのは注目される。また、ハンドボール界では初めてドーピング・チェック（興奮剤検査）などが男子にさきがけて行われるとも伝えられている。

日本、速いプレーで勝機を

前回7位ながら日本の評判は高い。6年前の西ドイツ大会でみせたクイックプレー、どちらかといえば恵れた体軀を活かすだけで大まかな展開に終始する外国チームの間ではユニークな存在だった。

地元紙も日本の速さを絶讃「東洋のミツバチ」「東洋の台風」などと書き立てたが、今回も日本の主戦武器はショートパスをつなぎあわせたフォーメーションプレーと速攻ということになりそうだ。

日本の第1次リーグの相手が3回つづけて西ドイツ、デンマークになるとは思ってもみなかったことだ。流会したモスクワ大会とまったく同じ顔ぶれ。この時も関係者は「いける」と踏んでいたものだ。日本のレベルアップを考えると今回はさらに希望がもてよう。

西ドイツは新旧交替の機を逸した感じでいぜんGKアイツヒナウアー、FPミルター、ライトウエイスナーらが中心、スウェーデンとの予選2試合ではライトウェイスナーが10点をマークしている。

4年前の秋、準ナショナルが来日しており、その時監督をつとめたトルカ氏がいぜん指揮をとっていることなどから、戦法的にも大きな流れの変化はないとみられ、西ドイツの主力を身近に見て来た近森克彦氏（全日本）も「日本の方が上」としている。

デンマークも、今の日本ならばそうこわい相手ではなさそうだ。

主力は、アンネマリー・ニールセンと予選通過の原動力（2試合で8点）ラスムセンの両ベテラン。デンマークの昨シーズンの公式戦における勝敗は6勝4敗1分。西ドイツに9—8、ルーマニアに11—9で勝っている。

宿願のベストシックス入りを果たすには第1次リーグで1勝が必要、西ドイツ—デンマーク戦の結果では三すくみも考えられ、得失点差が微妙になってくる。やはり〝2勝策戦〟が望まれる。

不安はキャリアの不足

日本にとって不安なのは、選手全員に海外遠征の経験がないことと、6年間のブランクの二点である。

日本選手も大きくなった（前回に比べ平均身長で4・4センチ増）とはいえ180センチ台もみられるようになった外国選手との差はいぜんとして縮っていない。

比較的キャリアをつんだ全日本男子でさえ、しばらく外国チームとの対戦からはなれているとカンが鈍って思うように動けないといわれる。体験ゼロの全日本女子にとっては大きなハンディであり、各地転戦中にどこまで〝対策〟がこうじられるか。一つのカギといえよう。特に長身選手のロングシューター、頭上攻撃をどう封じこめるか、防禦面の課題は大きい。

6年間の空白はなにも日本に限ったことではないが、欧州各国は今年はサマーシーズンにも積極的に交流してこの穴を埋める努力をしている。孤島の日本にとってはこの点が辛い。

優勝候補並ぶB、C組

優勝戦線に目を転じてみよう。A組で日本、デンマーク又は西ドイツが勝ちあがるとしてB組、

C組は強力2国がすさまじい試合をくりひろげそうだ。

B組ではノルウェーが一歩おくれユーゴ、ルーマニアの争い。

前回準優勝のユーゴはモスクワ大会では絶対の自信をもっていながら流れ、この大会で一気に秘めた力を爆発させようとしている。

自国で再三国際大会を催し東ドイツ、ルーマニア、ソビエトなどと手合せをしているがトルテイ、クネゼビック、ニンコビク、ラダコビックらの攻撃力は鋭いものがある。

ルーマニアも女王の座返り咲きを狙って意欲充分だ。エース・スオスが健在で、6月のユーゴ国際では21点を叩き出している。このほかアルグイル、ポパ、イバデュ－ラ、GKクリモブスキーらが主力。

C組もすごい。2連勝を目ざすハンガリー、優勝候補ずい一と圧倒的な前評判を得ている東ドイツそれに地元オランダがからむ。9月の国際大会でルーマニアに8－9と食い下ったもののオランダの失格はまぬがれないところだろう。

ハンガリー—東ドイツは決勝で再戦も充分考えられる好カード。

東ドイツはすでに昨シーズン以後、ほとんどの国際大会を制しており、破壊力に富んだ攻撃陣は男まさりといわれる。

特にエース・ホクムスは、現代最高アタッカーといわれるのにふさわしいものがあり、4月に行われたチェコとの予選2試合も、12点をあげた彼女の奮斗によるところが大きい。

このほかブラウン、ヤンカー、クレッマール、カント、GKゾベル、ブロスクで攻守ともまったくスキがない。

ハンガリーはメンバーを一新して臨むが、最大の話題はバーバラ・トースの登場だろう。1m88という長身。今シーズンからとび出して来た新鋭だ。(これまでハンガリーで活躍していたのはカサリン・トース。バーバラとの関係は詳らかにしない)。彼女を中心にクシク、フレック、ミクロス、トマンステルビンスキー、GKスザボ、ブドスゾーの布陣はやはり強力だ両者の対決は今シーズン1勝1敗。ただしハンガリーが10－9(延長)で勝った時、東ドイツはホクムス、GKゾベルを欠いていた。

微妙な準決勝の組み分け

ところで興味深いのは準決勝リーグの組み分けだ。

すなわち1組はA、C組の各1位とB組2位、2組はB組1位とA、C組の各2位。予選リーグで1位、2位どちらになるかは最終順位に影響してくる。日本などはとてもそれだけの余裕はないが、「1戦を落としても2位になったほうが得策」という読みを上位国のコーチングスタッフは念入りにするわけだ。

今回の焦点は、B組各国が準決勝リーグで東ドイツをどうさけるかにあろう。

東ドイツ、ハンガリーにしてもC組の順位を予測してどちらが得手か、苦手を勘定するだろうからいっそう糸はもつれる。

今年も東欧勢優位動かず

史上初の2連勝を狙うハンガリー、男子優勝に遅れじとするルーマニア、世界初制覇をまず女子からとする東ドイツ、ミュンヘンへのムードづくりにもと望むユーゴいずれも国家意識を背景にしており予断は許さない。

わずかに東ドイツ有利とは関係者の一致した意見だが、6月のユーゴ国際では

東ドイツ　12－11　ルーマニア
ハンガリー　9－6　ルーマニア
ユーゴ　12－11　東ドイツ
東ドイツ　15－10　ハンガリー
ユーゴ　15－12　ハンガリー

また9月のハンガリー国際では

東ドイツ　13－8　ユーゴ
ハンガリー　13－10　ルーマニア
ルーマニア　15－9　ユーゴ
ハンガリー　10－9　東ドイツ

とせりあっている。

日本の5位は有望

日本は最終的にどこまで進出できるだろうか。

どうヒイキ目にみても東欧勢の一角に食いこむことは難しい。5位決定戦で再びA組で顔を合せたどちらかと対戦する可能性が濃い。そうなれば5位が有望である。

多くのハンディをのりこえて健斗を期待したい。

日程と組み合せ

第1日（12月11日）
日本—西ドイツ（19時30分）
ユーゴ—ノルウェー
ハンガリー—オランダ
第2日（12月12日）
日本—デンマーク（15時）
ノルウェー—ルーマニア
東ドイツ—オランダ
第3日（12月13日）
デンマーク—西ドイツ
ルーマニア—ユーゴ
東ドイツ—ハンガリー
第4日（12月15日）
(準)A組1位—B組2位
(準)A組2位—B組1位
(七)A組3位—B組3位
第5日（12月16日）
(準)C組1位—B組2位
(準)A組2位—C組2位
(七)A組3位—C組3位
第6日（12月17日）
(準)A組1位—C組1位
(準)B組1位—C組2位
第7日（12月18日）
(七)B組3位—C組3位
5・6位決定戦
第8日（12月19日）
3・4位決定戦
決勝戦

（第4日以降の(準)は準決勝リーグ、(七)は7～9位決定リーグ）

女子ナショナルチーム紹介

役員

監督　山田　計
49才、日体大出、日本協会常務理事、全日本教職員連盟理事長、国際公認審判員、大阪工芸高校教諭

コーチ　宇津野年一
48才、日体大出、日本協会技術指導委員、全日本学連審判部長、名古屋工業大学教授

コーチ　井　薫
34才、中央大出、日本協会技術指導委員、大洋デパート監督

山田計監督の話

技術的、体力的にはかってない代表チームが出来たと思う。問題は選手全員に外国遠征がないことと、外国チームとの対戦経験が乏しいことなどによる精神面だ。5チームからのピックアップだがチームワークについては数回の合宿によってまとまりもみえ心配していない。

11月中は外国チームになれることと、長身選手対策をこうじるためテストマッチを繰り返していくつもりだ。今のところ5ケ国で13試合を組んでいるが勝負はまったく問題にしていない。本大会で勝つメドをつけるのが目的だ。

本番では是が非でも第1次（予選）リーグを突破する。できることなら4位、5位をおみやげにしたい。

6年ぶりの大会開催であり、本場との地域差というハンディをのりこえて、やがては世界最上位に躍りでる足がかりをつかむことができれば満足だ。

選手団

①年令、②身長③体重④経歴、⑤これまでもっとも印象に残る試合、⑥「世界選手権」を前にしての抱負

GK　小原　名苗
①23才、③163m、③54K、④熊本県水俣市立湯出中ー大洋デパート（球歴10年）、⑤昭43福井国体一般女子決勝で田村紡を破った一戦、⑥世界選手権まで7回の国内の合宿を重ねて来ましたが自分達の特徴とする速攻がどれだけ背の高い外人チームに通用するか。その要（かなめ）のGKとして、これまで身につけているテクニックを思い切りぶつけて戦って来たいと考えている。

今シーズンになって男子のゲームとはいえグンメルスバッハ（西ドイツ）やスウェーデンナショナルの試合ぶりを見ることができたのは大変参考になったと思う。

背が高い事が手伝って日本人以上に高い打点でシュート打ってくる事が考えられるし、当然シュートタイミングがちがってくる。女子においても同じ事が考えられるので早くシュートタイミングを読みとり、自分の力をふるに発揮できるようにしたい。バックとの連携も今日までの合宿でわかってきてるし、精神面でもお互いに励ましあって頑張りたいと思う。

GK　北岡　千賀
①23才、②168cm、②63K、④高知市市立朝倉中ー高知西高ー中京女大ー愛知教員ク（球歴8年）、⑤昭和44年第1回全日本女子学生東西対抗に西軍代表として出場、東軍を破った試合。

世界選手権の日本代表の一員に加わる事が出来たいへん嬉しく思います。まだまだ他のメンバーの方のプレーを吸収し努力せねばならない私ではありますが、日本代表としてはずかしくないように頑張ってまいります。また本場欧州のプレーを実際に見聞し習得してきたいと思っております。

FP　枝尾　清女
①24才、②157cm、③54K、④熊本県上益城郡小峰中ー大洋デパート（球歴12年）、⑤昭43福井国体一般女子決勝の対田村紡戦、⑥ナショナルプレヤーという光栄、そしてその責任の重大さを感じられずにはいられません。

世界の強豪を相手にこれまでの合宿で鍛えた精神力とチームワークで一戦一戦を大事に自分の持てる力を十分発揮し思い残すことなく戦ってきます。

最後にみなさんのご期待にそえますように頑張ります。

FP　三宅美智子
①24才、②156cm、③52K、④熊本県河浦町立宮野河内中ー天草高ー大洋デパート（球歴10年）、⑤昭44第21回全日本総合決勝の対大崎電

全日本女子代表

牧野　涼子　　枝尾　清女

三毛　直子　　三宅美智子　　山田　監督

寺尾由美子　　垂水　季代　　宇津野コーチ

三浦　朝子　　渡辺須和子　　井コーチ

島田　夏枝　　米　恵美子　　小原　名苗

古佐原ひろ子　　滝口　治代　　北岡　千賀

気戦。４大タイトル独占のきっかけとなった大会だが、優勝後、負けた時のようにどなられた。一つの試合に勝ったことに満足せず、次のゲームへの策戦がたてられ、すでにそれに向かっての戦いが始っていることを改めて知った。

⑥本番が近づくにつれ、自分に与えられた責任の重さを改めて感じる。

昨年の12月にナショナルチームがスタートして以来、数次の合宿を重ね、監督、コーチの厳しい要求を体で覚えてきてるはずなのに今尚一沫の不安が頭をかすめる。グンメルスバッハ、スウェーデンチームの来日で体格、パワーの差をまのあたりに見せつけられたせいであろうか。体力体格共に恵まれない私が外人相手にどこまでくい下がれるかは分らないけれどファイトだけは、負けない意気込みでいる。親善試合を兼ねた練習で外人に通用する自分のプレーを早く見い出し又、外人チームのパスワーク、シュートタイミング等を把握し本番では自らの持ってる力を存分に発揮できるよう頑張りたい。全国のハンドボール愛好者の皆さんの期待を全うする為にも又選ばれた一人であることを自覚し最善を尽したいう。

FP　垂水　秀代

①23才、②163㎝、③53Ｋ、④熊本県稲郷中—菊池農高—大洋デパート（球歴9年）、⑤昭44第9回全日本実業団の対田村紡戦。前半3点リードされていたが、後半に逆転した。

⑥出発をまじかにひかえなにかと心焦る毎日です。メンバーの一員に選ばれ光栄に思うと同時に責任の重さを痛感しています。外国人と比べ体格的に劣り、国際試合のキャリアにとぼしい我々が不安をかくせないのは事実です。そうした時にスウェーデン男子が来日したことは、男女の相違さえあれこれから未知の相手と戦おうとしている我々には非常に参考になるものでした。この観戦をもとに合宿の成果を発揮すると共に欧州のハンドボールを目で、身体で知りそれを日本に持ち帰りたいものと思っています。

FP　渡辺須和子

①23才、②158㎝、③56Ｋ、④熊本県菊池中—菊池農高—大洋デパート（球歴8年）、⑤昭43福井国体一般女子決勝で四冠王の田村紡を破り初めて優勝した瞬間!!

⑥出発を目前に控えてまず第一に

気力、精神面だけは充実させたいと思います。外国チームとの対戦経験もあまり無く、不安の方が強くコンプレックスが先に立ちはしないかと心配です。九月中旬来日しましたスウェーデンチームの試合を見てもわかるように、体格、技術面においてもつくづく感心させられるばかりでした。男子同様、女子チームにもいえる事ではないかと思われます。日本を代表して行く以上、日本人として恥かしくないようにこれ迄の合宿の成果を生かし、自己の持つ最高のプレーを発揮して、欧州のハンドボールがどういうものであるかを身体でぶっかり吸収し、今後、日本のハンドボール界発展の為にも大いに役立つよう頑張りたいと思います。

FP 米 恵美子

①23才、②161cm、③58K、④熊本市立出水中―熊本市立高―大洋デパート(球歴9年)、⑤昭43の福井国体、

近日に迫った出発を前に、全日本ハンドボールの代表選手としての認識を強く感じています。国際試合の経験がうすい私達だけに、遠征の場に於て、幾多の壁にぶっかることも十分に覚悟しなくてはならないと思います。このたび来日した。グンメルスバッハやスウェーデンチームと対戦した全日本男子の試合でもわかるよう外人選手に対し技術面は別とし、体格、筋力の面ではるかに劣る日本人です。そういったハンディを克服する意味においてもそれに上まわる気力とこれまで積んだ練習の成果を十分に発揮し全力でぶつかるつもりです。初めての世界選手権出場と海外遠征です。あらゆる面で不安が先に立ってしまいますが、自分の立場と責務を十分認識すると共に、全国のハンドボール関係者のかたがたの願いが私たちに託されていることを忘れず一生懸命頑張ってきたいと思っています。

FP 滝口 治代

①22才、②156cm、③50K、④広島県大竹市立小方中―山陽女高―東京重機工業(球歴8年)、⑤特になし

夢にまでみた世界選手権の一員に選ばれ、大変うれしく思っています。一員に選ばれた以上自分のもつ力を最大に発揮し、日本代表としての責任と自覚を更に強くもって頑張ります。日本を離れ知らない国での長期生活をするにおいて、チーム全員のいっそうの信頼と協力が必要だと思っています。始めての海外遠征なので、できるだけ多くの事に眼をむけてきたいと思います。

多くの種々の面でのお土産をもってきたいと思っています。

FP 牧野 涼子

①22才、②162cm、③60K、④秋田県雄和村立川添中―秋田和洋女高―東京重機工業（球歴7年）、⑤昭41第17回全日本高校選手権準々決勝の対静岡城北高戦、1点差の勝利。

ハンドボール界に入って七年目私にとって、この七年間は、トッププレーヤーを目指すことの一点ばりでしたが、このほど栄えある世界選手権メンバーに選出されたということは、大変光栄であり一生涯忘れられない喜びになると思います。私はチームプレーをする者の一員として、全試合常にチームが勝ち、心を一つにして助け合いながら、喜びを分ち合えるプレーヤーになりたく一生懸命頑張る覚悟です、新しく慣れない土地、環境でありすべてが不利な条件として現われるのではないかと思います。これまでの国内合宿練習において特訓をうけ自信をつけて参りました。それらを充分に生かし日本代表選手の名に恥じない様自分にあたえられた責任とプライドを堅く守り努力して参りたいと思います。また本場ヨーロッパに遠征が出来るのですから私にとってすべてが勉強です。本場欧州の技術や知識、精神面などに充分眼をそそぎ吸収し学んで来たいと思っています。

FP 三毛 直子

①22才、②164cm、③61K、④三重県松阪市立殿町中―松阪女高―田村紡(球歴8年)、⑤昭和46第12回全日本実業団選手権の対日本ビクター戦

⑥全日本代表の一人に選ばれたことは一生忘れられない思い出になるでしょうし、今、私は限りない喜びと感激をかみしめています。

この上は日頃体得したスポーツマンシップとテクニックを十分に発揮し、日本の代表として立派にその責任をはたしたいと思います。又この機会にヨーロッパ各国の風俗習慣を勉強すると共に日本の女性として恥ずかしくないように行動し、私は私なりに訪問した国のどこかへ、ささやかながら一本でも日本の花を咲かせたいと思っております。

FP 寺尾由美子

①22才、②154cm、③52K、④愛媛県土居中―土居高―大崎電気（球歴8年）、⑤昭45全日本総合選手権の対日本ビクター戦

⑥私は、社会人として四年間ハンドボールに打ち込んで来ましたが今回、ナショナルチームの一員として、女子世界選手権大会に出場する事が出来ますことを光栄に思います。

現在の心境は不安と期待で胸が

一杯です。大会では一戦一戦全力を尽くして戦いそして、ヨーロッパのハンドボールというものを見て来たいと思っています。

FP 三浦 朝子

①21才、②159cm、③54K、④岩手県花巻市立宮野目中―花巻南高―大崎電気(球歴7年)、⑤昭44全日本選抜の対三菱鉛筆、ノータイムからFTを許し敗れた一戦。

⑥世界選手権出場の全日本の一員に選ばれて嬉しく思っております。その反面自分に課せられた責任の重大さと不安を痛切に感じています。本大会に入るまで、ヨーロッパ各国と親善試合をするわけですが、技術的に未熟な私としては、とにかく気力でぶつかる以外何もありません。チームとしての自分の役目というものを今一度認識して出来るかぎり頑張って来ます。

FP 島田 夏枝

①21才、②164cm、③53K、④熊本県八代郡氷川中―大洋デパート(球歴6年)、⑤昭43福井国体の対田村紡戦

キャリヤ、実力共に他の選手に比べ劣っている私がナショナルチームのメンバーとして選ばれた責務は、ヨーロッパ諸国の高レベルのプレーを学んで持ち帰り、それを今後のハンドボール生活に活かす事だと思います。大陸諸国に比べ国際試合に乏しい島国日本、日本では、見られないようなプレーも数多く見受けられる事でしょう。

このような経験は、今後ハンドボールをやってゆこうとする私にとって、おおいに勉強になる事と思います。シュート、ディフェンス、速攻と、学ぶものは、いっぱいいありますが、国際試合経験のない私は、その目的を一つに絞る事が出来ません。今は吸収できるものは貪欲に吸収し、できれば、それを体で覚えるように努力したいと思っています。

FP 古佐原ひろ子

①21才 ②153cm、③48K、④福島県原町市立原町三中―小高農高―東京重機工業(球歴6年)、⑤高校時代、東北大会のある試合で終了20秒前ミドルシュートを決めその1点で勝った時

全日本のメンバーに選ばれ、日本代表として世界選手権に出場できることは、ほんとうに幸運の一言しか表現することができません。技術、精神的にもまだまだ未熟な私ですが、先輩達のプレーを研究し、それに自分の得意とする動きをプラスし、外国選手を相手に、どれだけ通用するかわかりませんが、小柄な私でも、やればできるという信念をもって最後の最後まで日本代表であることを肝に命じ、恥じることのない様に頑張って来たいと思っています。

全日本女子遠征日程

11月	2日	羽田発（22時5分 ＡＦ271便）
	4日	デンマークで親善試合（1試合）
	5日～7日	スウェーデンで親善試合（2試合）
	8日～15日	ルーマニアで親善試合（3試合）
	16日～24日	フランスで親善試合（3試合）
	25日～30日	西ドイツで親善試合（4試合）
12月	1日	西ベルリン→アムステルダム
	2日～9日	オランダで調整
	10日～21日	第4回世界女子選手権
	22日～25日	イタリアで親善試合（2～3試合）
	26日	ローマ発
	27日	羽田着（22時10分 ＡＦ196便）

※スケジュールはいずれも予定

過去の全日本成績（世界選手権）

◇第2回大会（昭和37年7月・ルーマニア）＝参加9ケ国

▽予選リーグB組

ハンガリー 17（11―5、6―3）8 日本

デンマーク 12（7―4、5―3）7 日本

この結果7～9位決定リーグへ

▽7～9位決定リーグ

ポーランド 16（7―5、9―5）10 日本

西ドイツ 15（7―1、8―5）6 日本

【最終順位】①ルーマニア②デンマーク③チェコ④ユーゴ⑤ハンガリー⑥ソビエト⑦ポーランド⑧西ドイツ⑨日本

◇第3回大会（昭和40年10月・チェコ、西ドイツ）参加8ケ国

▽第1次ラウンド

チェコ 17（9―4、8―4）8 日本

チェコ 17（7―1、10―4）7 日本

▽予選リーグA組

西ドイツ 15（8―1、7―6）5 日本

デンマーク 10（5―4、5―5）9 日本

ユーゴ 9（5―3、4―2）5 日本

この結果7・8位決定戦へ

▽7・8位決定戦

日本 6（4―1、2―4）5 ポーランド

【最終順位】①ハンガリー②ユーゴ③西ドイツ④チェコ⑤デンマーク⑥ルーマニア⑦日本⑧ポーランド

（注）日本は第1回大会（昭23・ユーゴ 優勝国＝チェコ）には参加せず。

海外トピックス

日本、第1戦を飾る

全日本女子の欧州遠征第1戦は12月3日夜デンマークナショナルと行われ日本が14―12で勝った。

ハンガリー女子勝つ

女子有力国による第3回プラッテンシー・カップはこのほとハンガリーのヴェスプレムで行われ、地元ハンガリーが東独を延長の末1点差で破り優勝した。

両国は12月の世界選手権で覇争いが予想されているが、東独はこの大会にエース・ホクムスとGゾベルを連れていかなかった。

▽予選リーグA組
ルーマニア 9―8 オランダ
ハンガリー 14―4 オランダ
ハンガリー 13―10 ルーマニア
▽同B組
ユーゴ 15―8 ヴェスプレム（ハンガリー）
東ドイツ 13―8 ユーゴ
東ドイツ 18―9 ヴェスプレム
▽5位決定戦
オランダ 5―4 ヴェスプレム
▽3位決定戦
ルーマニア 15―9 ユーゴ
▽決勝
ハンガリー 10（4―3、3―4、2―2、1―0）9 東ドイツ

スウェーデン6位

スウェーデンは、日本遠征から帰国後休むまもなくデンマークで開かれた「バルティックカップ」（9月28日～10月2日）に出場、したが6位に終った。優勝は東ドイツ。

▽5位決定戦
デンマーク 17―10 スウェーデン
▽3位決定戦
西ドイツ 24（分）24 ポーランド
▽決勝
東ドイツ 19―18 ソビエト

アメリカが本腰 アメリカ協会は一九七六年のモントリオールオリンピックまでに強力チームを編成することになり、西ドイツの名コーチ、ベルンハルト・ケンパを指導者に招き強化に本腰を入れることになった。特に軍隊への普及に力を注ぎ、ナショナルチームは今シーズン2回のヨーロッパ遠征を計画している。

7MTで結着 このほどユーゴで行われた女子の国際大会の決勝戦ザグレブ選抜対チェコは10―10で試合が終了したため、大会規定で両チーム6選手が交互に7MTを行って結着をつけることになりザグレブ選抜が4人成功、チェコが2人成功して結局14―12というスコアでザグレブ選抜の優勝と決まった。〝7MT合戦〟の採用は4月の第4回世界学生（チェコ）についで2度目。

東アジアのハンドボールについて

田中滋章

近くオリンピックアジア予選が開かれるが日本協会ではアジア地区のハンドボールをどうしてゆくかという定見をもたない。IHFには日・韓が加盟し、台湾が準加盟しているだけの東アジアの今後がどうなってゆくのかを憂慮し少し記してみたい。

少なくとも後進国開発という点では台湾協会の積極さを認めざるを得ない。先に香港協会を発足させ、この8月には16名も送り込んで技術講習会を開きタイやマレーシアからも受講生を参加させたと聞く。韓・台でも分るように〝安価で〟〝覚え易く〟〝場所も小さく〟〝運動量も適当な〟このハンドボールを小学生から指導要領に入れてゆくことは比較的容易で手っ取り早い。

また一方では審判や技術の向上を目指す韓・台は再三にわたり日本に対し講習会を開くよう申入れてきている。しかし日本では5月と8月に韓国を、同じく8月に台湾を呼ぶように決めながら書類の遅延や不備などでいずれも来日不能になっている。このことは従来日本とのパイプ役だった韓国の洪副会長や台湾の宋副理事長がそれぞれの国で苦しい立場に追い込まれている上、日本に対する信用を失なった。

台湾では明年アジア少年大会を開く計画があると聞くが、アジアの主導権を日本が取らねば自分たちの手でと両国とも考え出しているようだ。日本が今後イニシアティブを取ってゆくか。それとも他国にゆずるのかはとも角、日本がどんな立場を取るかははっきりさせねばなるまい。中国や北朝鮮との問題もあり今すぐアジア連盟を考えるのは無理としても、指導と普及には大いに手を貸すべきである。

オリンピック予選の際に開くアジア会議で韓・台両国代表から徹底的にたたかれることは覚悟せねばならないが、ここで改めて日本の立場をはっきりと表明し今後のアジアハンドボール界へのビジョンを打ち出して欲しいものである。それが将来世界選手権やオリンピックにアジアから複数の代表を送り込む早道になると思うからである。

（投稿）

新システムで初の運営

全日本総合、出場チームほぼ決定

日本協会は10月16日の月例常務理事会で第23回全日本総合選手権（12月15日～19日・東京体育館）に出場する各加盟団体推せんチームなどを次のように発表した。

○……男　子……○

▽日本協会推せん（2チーム）、大崎電気（埼玉）、ワクナガ薬品（大阪）
▽全日本学連（5）、11月7日に決定
▽全日本実連推せん（3）、大同製鋼（愛知）、三景（東京）、本田技研（三重）
▽全日本教職連推せん（2）大阪イーグルス、スワロー兵庫
▽全日本自衛隊連推せん（1）、自衛隊勝田（茨城）
▽全国社会人代表（2）、11月9日に発表
▽開催地（東京）代表（1）、11月9日に決定

○……女　子……○

▽日本協会推せんの大洋デ（熊本）は勤務の都合で辞退
▽全日本学連推せん（3）、11月7日に決定
▽全日本実連推せん（5）、東京重機工業（東京）、大崎電気（埼玉）、田村紡（三重）日本ビクター（茨城）、ブラザー工業（愛知）
▽全国高体連推せん（1）、山陽女子高（広島）
▽次年度国体開催地（鹿児島）、代表（1）、一般女子が出場（チーム名は11月9日に発表）
▽全国社会人代表（1）、徳山高OG（山口）
▽開催地（東京）代表（1）、11月9日に決定。

会期を冬季に移し、出場チームを一気にこれまでの半数にしぼった初の大会はあらゆる面でその成果が注目されている。

男女とも予選トーナメントのあと男子はベスト4、女子はベスト3によって決勝リーグを行い、ナショナルチャンピオンチームを決めるシステムも初の試みだ。

出場チームの中で興味をひくのは高校女子チャンピオン山陽女高だろう。また主力を世界選手権に送って手うすな実業団勢に学生チームがどう挑むかも焦点。

男子は、オリンピック予選代表（16名）が全員所属チームに帰っての登場、久々に単独チームの激突は球趣を高めることだろう。大会の組み合せ抽せんは11月12日東京で行われる予定。

由利（湯沢）、折口（山陽）ら30選手

☆今年の全日本高校優秀選手☆

日本協会、全国高体連ハンドボール部は「昭和46年度全日本高校優秀選手」男女各15名を次のように決め発表した。

男子は今夏の全日本高校選手権上位校の主力選手が固まっているのに対し、女子は9校から選出されているのが特色。いずれも3年生。

○……男　子……○

▽GK
由利　吉弘（秋田・湯　沢）
藤岡　茂生（山口・岩国工）
▽FP
由利　明哉（秋田・湯　沢）
菅野　肇（秋田・湯　沢）
押切　春彦（秋田・湯　沢）
山高　邦年（長崎・佐世保北）
大庭　泰（長崎・佐世保北）
力武　俊造（長崎・佐世保北）
犬飼　孝則（愛知・桜　台）
上滝　博（愛知・桜　台）
大熊　昌己（東京・中大附）
青山　幸二（東京・中大附）
藤本　康生（山口・岩国工）
神野　公明（愛媛・新居浜工）
岩見　主彦（愛知・中京　）

○……女　子……○

▽GK
堀井　典子（秋田・和洋女）
藤寄千鶴子（大分・別府青山）
高橋　恵子（宮城・涌　谷）
▽FP
菊池　春美（秋田・和洋女）
松橋　和子（秋田・和洋女）
折口　律子（広島・山陽女）
村上佐智子（広島・山陽女）
山本　悦子（静岡・城　北）
池野　裕美（静岡・城　北）
井村　美恵（大分・別府青山）
木元　典子（栃木・国学院）
坂　純子（富山・有　磯）
富田　怜子（宮城・涌　谷）
藤田みどり（愛媛・土　居）
中岡　里美（愛媛・新居浜商）

富永氏、常務理事に

日本協会ではさきの全国理事会で富永劭氏（日大出、全日本自衛隊連盟理事長）を常務理事に新任した。

また、1名欠員の会長推せん理事の補充については全国評議員会（10月3日）で田村会長から追加の意思表示があり、オリンピック予選などとの関連から大阪協会関係者と話合うことを承認、10月15日付で神田清氏（日体大出、大阪協会理事長）を決めた。これで日本協会理事は35名（加盟団体、ブロック選出各10、会長推せん15＝任期48年3月）が出揃った。

和歌山国体終わる《速報》

高校岩国工、女・和洋勝つ

第26回国体は10月25日から29日まで和歌山県打田町に全国の予選を勝ち抜いた5部門71チームが参加して行われた。

島原農、緒戦で敗退
清商ク、自衛隊勝田降す

◇第1日（10月25日・1回戦24試合）

▽一般男子1回戦

神戸製鋼（兵庫） 21（11 10－10 8）18 熊本トヨタ自動車
田原外郎ク（山口） 24（13 11－4 4）8 盛岡商友会（岩手）
全愛知 25（12 13－7 5）12 奈良ク
全石川 15（11 4－7 7）14 京都ク
AOK栃木 30（12 18－13 9）22 SGク（福島）
和歌山ク 18（10 8－8 6）14 北陸電力（福井）
ワクナガ薬品（大阪） 24（11 13－7 8）15 日新製鋼呉（広島）
清商ク（静岡） 17（8 9－6 3）9 自衛隊勝田（茨城）
永見ク（富山） 24（10 14－10 7）17 函館有斗OB（北海道）
全神奈川 24（14 10－11 10）21 青森ク
高知ク 22（10 12－6 4）10 塩山ク（山梨）
住化菊本（愛媛） 25（12 13－5 4）9 福岡ク
本田技研（三重） 28（15 13－5 4）9 高島ク（滋賀）
三景（東京） 25（12 13－10 5）15 佐世保ク（長崎）

▽一般女子1回戦

大崎電気（埼玉） 8（4 4－2 4）6 小商ク（長野）
徳山高OG（山口） 13（4 9－8 3）11 和歌山ク
室蘭ク（北海道） 13（8 5－4 3）7 兵庫ク
田村紡（三重） 30（14 16－3 2）5 高知ク

▽教員男子1回戦（1試合）

愛知教員 19（12 7－4 7）11 鹿児島教員団

▽高校男子1回戦（2試合）

岩国工（山口） 16（10 6－8 6）14 東京選抜
新居浜工（愛媛） 9（1 1…3 4－0 1…5 2）8 函館有斗（北海道）

▽高校女子1回戦（3試合）

長野選抜 9（4 5－2 3）5 島原農（長崎）
土居（愛媛） 11（5 6－4 1）5 沖縄選抜
兵庫選抜 8（3 5－1 3）4 岐阜選抜

湯沢、二冠の野望成らず
徳山OG、ブラザー食う

◇第2日（26日、準々決勝及び一般男子2回戦）

▽一般男子2回戦

大崎電気（埼玉） 18（11 7－3 9）12 神戸製鋼
本田技研 14（6 8－6 5）11 田原外郎ク
和歌山ク 14（1 2…6 5－0 2…4 7）13 高知ク
AOK栃木 25（14 11－7 4）11 永見ク
三景 23（12 11－7 4）11 全石川
住友化学菊本 18（11 7－7 9）16 全愛知
ワクナガ薬品 16（8 8－4 3）7 全神奈川
東北学院大OB（宮城） 15（9 6－7 4）11 清商ク

▽一般女子準々決勝

田村紡（三重） 9（7 2－3 5）8 全岩手
日本ビクター（茨城） 21（11 10－2 2）4 室蘭ク
大洋デパート（熊本） 8（6 2－3 1）4 大崎電気（埼玉）
徳山高OG（山口） 13（3 10－6 6）12 ブラザー工業（愛知）

▽教員準々決勝

埼玉教員ク 15（7 8－7 6）13 愛知教員
福井教員 23（9 14－12 7）19 香川教員
和歌山教員ク 17（10 7－6 7）13 岡山教員
スワロー兵庫 27（13 14－13 4）17 岩手教員

▽高校男子準々決勝

岐阜選抜 9（2 7－3 4）7 大阪選抜
新居浜工 12（8 4－7 4）11 佐世保北
岩国工 12（5 7－2 4）6 湯沢（秋田）
富山選抜 9（4 5－3 4）7 和歌山選抜

▽高校女子準々決勝

和歌山選抜 15（6 9－4 2）6 室蘭商
和洋女（秋田） 15（10 5－3 3）6 長野選抜
東京選抜 5（4 1－2 2）4 土居
広島選抜 14（5 9－3 0）3 兵庫選抜

本田　和歌山クに苦戦
教員、兵庫－埼玉で決勝

◇第3日（10月27日、準決勝及び一般男子準々決勝）

▽一般男子準々決勝

大崎電気 12（7 5－5 2）7 AOK栃木
ワクナガ薬品 13（6 7－5 1）6 住友化学菊本
本田技研 13（2 1…5 5－1 1…6 4）12 和歌山ク
三景 30（18 12－5 6）11 東北学院大OB会

▽一般女子準決勝

大洋デパート 17（7 10－4 1）5 徳山高OG

日本ビクター 12（5－3、7－6）9 田村紡

▽高校男子準決勝

新居浜工 14（7－4、7－2）6 富山選抜

岩国工 6（3－2、3－2）4 岐阜選抜

▽高校女子準決勝

和洋女 11（3－3、8－6）9 和歌山選抜

広島選抜 9（2－1、7－0）1 東京選抜

▽教員準決勝

埼玉教員 16（7－4、9－5）9 和歌山教員ク

スワロー兵庫 24（10－6、14－10）16 福井教員

スワロー兵庫、埼玉を降す
大洋、若手で連続優勝

◇第4日（10月28日 決勝及び一般男子準決勝）

▽一般男子準決勝

ワクナガ薬品 11（5－2、6－7）9 大崎電気

三景 18（6－4、12－6）10 本田技研

▽一般女子決勝

大洋デパート 7（3－2、4－3）5 日本ビクター

▽同三位決定戦

田村紡 15（9－3、6－3）6 徳山高OG

▽高校男子決勝

岩国工高 13（8－3、5－4）7 新居浜工高

▽同三位決定戦

富山選抜 12（3－4、9－2）6 岐阜選抜

▽高校女子決勝戦

和洋女 7（3－1、4－3）4 広島選抜

▽同三位決定戦

和歌山選抜 6（4－2、2－2）4 東京選抜

▽教員男子決勝

スワロー兵庫 16（6－6、5－5…2－0、3－2）13 埼玉教員

▽同三位決定戦

和歌山教員 20（8－2、12－5）7 福井教員

◇第5日（10月29日一般男子決勝）

▽一般男子決勝

ワクナガ薬品 19（12－2、7－9）11 三景

▽同三位決定戦

大崎電気 25（12－4、13－9）13 本田技研

皇后杯得点 ①秋田・熊本 ③茨城・広島 ⑤和歌山・三重 ⑦東京・山口・北海道

天皇杯得点 ①和歌山 ②埼玉 ③山口 ④秋田・兵庫・大阪 ⑦東京・愛媛

鮮やか徳山ＯＧの活躍

国体ハイライト

◇……何よりも当の徳山高ＯＧが驚いた、というのだからコートサイドがしばらくの間この試合の話題でもち切りだったのもムリはない。

実業団とクラブ。その条件、環境の差はあまりにもハッキリしすぎている。

ましてや今大会でも優勝候補の一角にあげられ、上り坂、成長株といろブラザー工業（愛知）をたたいたのだから誰もがアゼンとした。

◇……居合せた日本協会役員も「ブラザーが負けたって？」とまず疑い「徳山はよくやったなァ」という賞讃の言葉はあとまわしだった。時間が経つにつれ「クラブの意気を示した」「これでこそ国体」「同じ立ち場の全国ＯＧに大きなはげみを与える殊動打」と絶讃の言葉が大きなに輪なって広がった。国体一般女子で実業団以外のチームがベストフォアに進出したのは昭39国体の全新潟以来7年ぶり。

◇……徳山高ＯＧの前評判は高くなかった。地元和歌山クの小手だめしという声まであり中所和信監督（徳山高教諭、日体大出）も『1回戦からすごいところに当たった。自分達の力が全国的にどの程度のものか試せればいい』と思っていたそうだ。

それが2点差をつけての快勝。

「こわされちゃうのではないか」と心配したブラザー工業戦も終始先手をとる巧みな試合運びで大番狂せを演じた。

◇……無欲の勝利。だが精いっぱいの努力もつづけてきた。ばらばらの勤務先、練習は夜間に限られる。ボールを使っての練習などとてもできない。

暗い道路や山道を走りまくって体力をつけた。昼間、オフィスで働いたあとだけに辛い……。

中国予選に勝ってからは土曜と日曜日に合宿、男子のＯＢを練習相手に「1点でもよけいにとる練習」をつんだ。

◇……メンバーの大半は昨春と今春の卒業生。『山口中央高ＯＧからも好きな者に加ってもらった』（中所監督）。経費もほとんど自己負担「ハンドボールが好きだから」こその尊い結晶である。

オリンピック・世界選手権……華々しい檜舞台にかくれた底辺のたくましさへ久々にスポットライトをあてさせたという意味でも徳山高ＯＧの活躍は高く評価してよいだろう。同チームは12月の全日本総合（東京）に出場する。

打田をハンドボールの町に

◇……会場となった打田町は人口一万三千。ふだんはごく静かな田園の町で旅館は一軒しかない。そのため選手はすべて民宿というハンドボールでは初めてのケースになったが、各家庭とも心暖まる奉仕でチームを迎え、選手たちは感激、恐縮のしどおしだった。

しかも、それぞれが世話をしたチームの声援にこぞって集ったため、競技時間中は大げさにいえば町中カラッポ。

同町は昨夏の全日本総合時にもわざわざ町民総出の盆踊りなどで選手を楽しませてくれたが、本番の今年はいっそう町ぐるみの歓迎が強まり町と選手一体のすばらしいムードのうちに大会が進められた。ハンドボールへの理解も高く大会後鈴木正太町長、荒川理事長ともに打田をハンドボールの町にしようとごきげんだった。

国体会場で壮行式 ◇……全日本女子チームの世界選手権壮行式は10月26日、第26回国体ハンドボールの開始式に引きつづいて和歌山県打田町の打田中学球技場で行われた。山田計監督をはじめ選手団全員が紹介されたあと、田村日本協会々長が団旗（国旗）を旗手の小原名苗選手（大洋デパート）に授与、参加役員、選手、町ぐるみでかけつけた打田町の皆さんから盛大な拍手が寄せられた。

渉外役員に中川氏 日本協会は全日本女子チームの渉外役員として中川葵氏（東急航空）を委嘱した。同氏は出発時から同行。

中央、日体に逆転勝ち

秋の学生リー　戦記録

関西は大阪経済大が優勝

関東（男子）

◇9月21日〜10月2日　◇駒沢屋内球技場ほか　◇参加1部〜3部各8校、4部10校（東京工大新加盟、山梨大欠場）

▼1部

日体 17（8—2 9—4）6 立教
芝浦工大 18（8—6 10—7）13 日大
中央 17（8—6 9—3）9 東京教大
法政 14（9—5 5—4）9 早稲田
法政 23（9—10 14—6）16 日大
早稲田 13（5—1 8—2）3 芝浦工大
日体 21（9—3 12—4）7 東京教大
中央 16（8—6 8—4）10 立教
中央 14（10—4 4—7）11 早稲田
立教 10（3—4 7—5）9 芝浦工大
日体 26（15—6 11—3）9 日大
法政 15（8—6 7—6）12 東京教大
法政 13（5—6 8—6）12 立教
東京教大 19（13—5 6—4）9 芝浦工大
中央 24（15—6 9—5）11 日大
日体 15（7—1 8—4）5 早稲田
早稲田 13（8—4 5—3）7 立教
日体 17（9—9 8—2）11 法政
中央 19（11—7 8—8）15 芝浦工大
東京教大 12（6—7 6—5）12 日大　引き分け
立教 17（8—3 9—4）7 日大
早稲田 11（4—4 7—6）10 東京教大
日体 23（12—3 11—3）6 芝浦工大
中央 28（13—8 15—7）15 法政
立教 13（7—6 6—5）11 東京教大
早稲田 17（9—4 8—7）11 日大
芝浦工大 16（10—10 6—6）16 法政　引き分け
中央 14（8—4 6—9）13 日体

得	【中央】		【日体】	得
0	井上	GK	高橋誠	0
2	佐々木		高橋精	2
4	佐藤要		松原	0
3	白石		細木	0
2	佐藤光		岩下	0
1	田中		喜井	3
2	塩田	（審・北井、池田）	佐藤雄	0
0	小井土		藤田	3
0	村田		松岡	4
0	会田		池本	0
0	上村		浅原	1
14	（2）	7MT	（0）	13

関東学生秋季（男子1部）

		中	体	法	早	立	教	芝	日	P	勝	分	負
①	中央	…	○	○	○	○	○	○	○	14	7	0	0
②	日体	●	…	○	○	○	○	○	○	12	6	0	1
③	法政	●	●	…	○	○	○	△	○	9	4	1	2
④	早大	●	●	●	…	○	○	○	○	8	4	0	3
⑤	立教	●	●	●	●	…	○	○	○	6	3	0	4
⑥	教大	●	●	●	●	●	…	○	△	3	1	1	5
⑥	芝浦	●	●	△	●	●	●	…	○	3	1	1	5
⑧	日大	●	●	●	●	●	△	●	…	1	0	1	6

【2部順位】①明治7戦全勝②国士館5勝2敗③東京学芸大4勝2敗1分④明星4勝3敗⑤防衛3勝3敗1分⑥慶応2勝5敗⑦千葉工大1勝6敗⑧順天堂7敗

2部は明治、3部一橋が初

▼2部　防衛 不戦勝 明星、東京学芸大25—10千葉工大、明治16—9慶応、国士館 不戦勝 順天堂、明星14—11慶応、明治14—11防衛、明星—順天堂、国士館28—6千葉工大、東京学芸大 不戦勝 順天堂、東京学芸大18—13慶応、国士館14—12防衛、明治34—6千葉工大、防衛13—12慶応、明星17—8千葉工大、東京学芸大12（分）12防衛、国士館14—12慶応、慶応 不戦勝 順天堂、明治19—15国士館、東京学芸大12—11明星、千葉工大 不戦勝 防衛、慶応18—4千葉工大、明治10—8東京学芸大、明星15—12国士館、千葉工大23—14順天堂、明治18—12明星、国士館21—12東京学芸大、明治 — 順天堂、防衛 — 順天堂

▼3部　武蔵工大16—11千葉商大、都立大18—10関東学院、一橋不戦勝 茨城、東海27—18東大、関東学院18—10東大、一橋20—8千葉商大、東海18—17都立大、武蔵工大18—9茨城、関東学院15—9千葉商大、一橋24—9東大、都立大15—14武蔵工大、東海15—12茨城、一橋15—13都立大、関東学院16—10茨城、武蔵工大19—7東大、東海22—11千葉商大、東大15—13千葉商大、東海11—10武蔵工大、一橋14—12関東学院、都立大11—6茨城、東海19—14一橋、東大20—15茨城、千葉商大12—8都立大、関東学院15—7武蔵工大、都立大20—19東大、茨城23—15千葉商大、一橋19—11武蔵工大、関東学院10—8東海

▽7・8位決定戦　千葉商大14—13茨城

▽優勝決定戦　一橋14—12東海

▼4部　独協16—15成蹊、独協 不戦勝 東京工大、青山学院12—11成蹊、東工大12（分）12専修、青

山学院　不戦勝　明治学院、上智16—5専修、横浜商大24—5明治学院、成蹊21—9明治学院、千葉大15—11東京工大、成蹊15—12上智、独協28—5東京理科大、上智20—16青山学院、専修16—10明治学院、独協12—9青山学院、横浜商大26—9東京理科大、成蹊14—13専修、千葉大28—5東京理科大、千葉大21—6上智、明治学院　不戦勝　東京工大、横浜商大　—　東京工大、横浜商大13(分)13青山学院、独協　不戦勝　明治学院、成蹊26—10東京理科大、千葉大18—12専修、上智　不戦勝　東京工大専修11(分)11青山学院、独協14—9横浜商大、千葉大14—10成蹊、上智16—13横浜商大、千葉大18—6明治学院、青山学院22—10東京理科大、千葉大17—9青山学院、成蹊　不戦勝　東京工大、東京理科大　—　東京工大、独協9—7上智、東京理科大10—9明治学院独協　—　専修、上智　不戦勝　明治学院、上智21—13東京理科大成蹊12—10横浜商大、専修15—13東京理科大、青山学院　—　東京工大、千葉大17—7独協、横浜商大14—13千葉大

【順位】①一橋6勝1敗②東海6勝1敗③関東学院5勝2敗④武蔵工大・都立大4勝3敗⑥東大2勝5敗⑦千葉商科大1勝6敗⑧茨城1勝6敗

▽優勝決定戦千葉大17—7独協

【順位】①千葉大8勝1敗②独協8勝1敗③成蹊・上智6勝3敗⑤横浜商科大5勝3敗1分⑥青山学院4勝3敗2分⑦専修2勝5敗2分東京理科大2勝7敗⑨明治学院1勝8敗⑩東京工大1分8敗

▼各部得点王

▽1部　荒井正人（法政）

▽2部　浦野修二（明治）

▽3部　徳光弘介（一橋）

▽4部は未発表

女子は日体が21連覇

得点王は堀江（東女）

苦節25年

劇的な中央の初優勝

○……残り52秒、佐々木がスルスルと日体ディフェンスをかいくぐってゲット、14—13。中大ベンチはもう総立ちだ。51秒、50秒……1分にも満たぬこの時の刻みを中大はじれったいほど永く感じたことだろう。あと18秒、気のはやった塩田が反則退場を喰った。場内騒然、関東学生リーグ史上、それはまれにみるスリリングなシーンでもあった。

○……勝った。選手を囲む輪がいくつもできた。スタンドは拍手と歓声、王座を明けわたした日体大のうちしおれた姿（注・日体の敗戦は43年秋の対立教戦以来42試合目）。

部創立が昭和21年、苦節25年にして得た栄光の重み。部員たちの胴あげに菅野芳彦部長、田中秀夫監督らが空中に高くほおりあげられた。嬉し涙をこらえる先輩の顔がいっそう見る者に感激的なムードを高めさせた。

○……関東学生のは権を握った学校は戦前から通算しても中央が8校目、これが7人制統一後になると立教(7回)、日体(6回)、芝浦工大(4回)の3校を数えるだけ。

その一角へ食いこんだ中央の健斗は絶讃されてよい。この夜は関東学生リーグ史の新しい頁が開かれた日ともいえるだろう。

○……中央の制覇はむしろ遅いぐらいであった。有力選手をかかえここ数シーズンつねに優勝候補の最右翼にあげられながらあと一歩で日体の堅陣を突き破れなかった。

優勝校の固定化に倦怠を感じ中央の躍進に期待をかけていたファンや関係者はなんども肩すかしされた。この試合でも後半15分9—12とアヘッドされた時はスタンドのあちこちで「またダメカ」の声が聞こえたほど。

○……昨春、今春と〝中大、初優勝〟を狙って集った新聞記者、カメラマンもこの日は一人も姿を見せていなかった。そのために劇的な場面を伝える報道写真は一枚もない。

しかし、気力の逆転勝ちで初優勝を飾った中央の選手たちの胸の中には〝残り52秒間〟の一駒々々が生涯消えることのないほど強く深く焼き付けられて残ることだろう。（S）

中大，関東学生総成績（本誌調べ）

	春季リーグ	秋季リーグ
昭21	……	新加盟⑦6戦6敗
22	⑧7戦7敗	2部
23	2部	⑦1勝5敗
24	⑧7戦7敗	⑧7戦7敗
25	⑧7戦7敗	⑧7戦7敗
26	2部	2部
27	2部優勝	2部
28	2部	2部
29	③2勝2敗	③2勝2敗
30	③2勝2敗	2部
31	2部	2部優勝
32	③2勝2敗	③2勝2敗
33	②3勝1敗	④3勝4敗
34	④4勝3敗	②5勝2敗
35	④4勝3敗	③4勝3敗
36	⑦1勝6敗	③5勝2敗
37	⑤3勝3敗1分	⑦2勝5敗
38	⑥2勝5敗	⑧1勝6敗
93	⑤2勝5敗	⑥2勝5敗
40	④3勝4敗	③4勝3敗
41	④3勝4敗	⑦1勝6敗
42	⑤3勝4敗	⑧1勝6敗
43	③4勝3敗	③4勝2敗1分
44	②4勝3敗	③4勝3敗
45	②6勝1敗	③3勝2敗2分
46	②6勝1敗	①7戦全勝

1部通算　256戦106勝148敗2分

関東（女子）

◇9月21日〜10月2日　◇駒沢体育館ほか　◇参加5校

日体　24（10—6、14—1）7　日女体大

東京教大　16（11—4、5—4）8　東女体大

東女体大　23（13—3、10—2）5　東京学芸大

東京教大　20（11—2、9—3）5　日女体大

日体　22（9—2、13—0）2　東京学芸大

東女体大　21（15—4、6—3）7　日女体大

東京教大　17（10—2、7—2）4　東京学芸大

日体　25（14—3、11—3）6　東女体大

日女体大　7（7—3、0—1）4　東京学芸大

日体　9（5—3、4—3）6　東京教大

得	【日体】		【東教】	得
0	大工原	GK	松井	0
0	石原	GK		
1	永田		渡辺	0
4	木村		韮沢	2
2	岩本		岡田	1
2	赤塚		継	0
0	福田		畑中	3
0	嶋田		山本	0
0	坂本		坂倉	0
0	小林		川島	0
0	鈴井		橋本	0
0	松本		松本	0
9	（3）	7MT	（1）	6

（審・勝　斉藤）

【順位】①日体大4戦全勝＝21シーズン連続、25度目の優勝②東京教大3勝1敗③東女体大2勝2敗④日女体大1勝3敗④東京学芸大4敗

▼得点王　堀江啓子（東女体大）21

金沢工大が春秋制覇

北信越

10月16、17日　福井大学体育館

参加6校

6校を2組に分けた予選リーグのあと、各組同位校で1～6位の順を決めた。

A組では春の優勝校・金沢工大が圧倒的な強さで他校を寄せつけず楽勝、B組では金沢大と富山大が引き分けたが、得失点差で金沢大が辛くも勝ち進んだ。

決勝・金沢工大－金沢大は今井を中心とした長身選手を揃える金沢工大がロングとポストのコンビネーションプレーで金沢大を突き放し、前半で勝負を決めてしまった。これで金沢工大は初の春秋連覇、通算3度目の優勝である。

▽予選リーグA組

福井大　16－9　金沢美工大
金沢工大　33－5　金沢美工大
金沢工大　24－7　福井大

▽同B組

富山大　21－14　信州大
金沢大　28－11　信州大
金沢大　13（分）13　富山大

▽5・6位決定戦

信州大　21（8－5　13－6）11　金沢美術工芸大

▽3・4位決定戦

富山大　20（9－9　11－9）18　福井大

▽優勝戦

金沢工大　23（11－5　12－13）18　金沢大

大阪経大も春秋優勝

関西（男）速報

10月10日～24日　大阪体大体育館ほか＝詳報次号

▽1部

大阪経大　18（5－6　13－6）12　京都産業大
大阪体大　15（8－4　7－9）13　関学
同志社　27（10－6　17－8）14　甲南
大阪経大　15（11－10　4－3）13　甲南
大阪体大　16（7－2　9－7）9　同志社
京都産業大　19（7－5　12－5）10　関学
大阪経大　22（9－4　13－11）15　関学
大阪体大　16（11－5　5－10）15　甲南
京都産業大　18（8－8　10－8）16　同志社
大阪経大　16（10－7　7－6）13　同志社
大阪体大　27（11－8　16－5）13　京都産大
関学　21（8－6　13－01）16　甲南
京都産大　20（6－2　14－4）6　甲南
同志社　20（11－5　9－8）13　関学
大阪経大　17（10－6　7－2）13　大阪体大

【順位】①大阪経大5戦全勝2シーズン連続2度目の優勝②大阪体大4勝1敗③京都産業大3勝2敗④同志社2勝3敗⑤関学1勝4敗⑥甲南5敗

女子でも大体大、春秋の栄冠

関西（女）速報

大阪体大　18（10－1　8－2）3　大阪教大
甲子園　26（11－2　15－0）2　大阪薬大
大阪体大　10（6－2　4－2）4　甲子園
大阪体大　18（7－1　11－1）2　大阪薬大
甲子園　21（8－0　13－1）1　大阪教大
大阪教大（　　）大阪薬大

【順位】①大阪体大3戦全勝＝2シーズン連続2度目の優勝②甲子園2勝1敗③大阪教大1勝2敗④大阪薬大3敗⑤夙川学院＝棄権

早稲田、慶応を押し切る

第19回早慶定期戦は10月16日午後4時から東京・早大記念会堂で行われた。

（観衆一千）

メエインカードの現役戦は、前半慶応の健斗でもつれたが、早稲田は後半2分7－7から渡辺のゲットを口火に連続4ゴール、主導権を握り押し切った。通算成績は早稲田の11勝7敗1引分

▽高校戦（第13回）

慶応　10（7－7　3－2）9　早大学院

通算成績、早大学院高の9勝4敗

▽OB戦

稲門ク（早）　24（11－10　13－11）21　三田ク（慶）

通算成績、双方8勝8敗2分1中止

▽現役戦

早稲田　14（7－6　7－3）9　慶応

【慶応】	得		【早大】	得
GK				
江上	0		吉田	0
			石橋	0
FP（審・藤原 高野）				
福島	4		高橋	5
名越	1		岩永	1
市河	1		長谷川	0
岡田	1		加藤	4
立田	0		浦山	0
鷲田	1		伊谷	0
青木	0		渡辺	1
木村	1		脇若	2
花上	0		田中	0
高瀬	0		菊地	1
9（3）		7MT	14（5）	

淋しい今年の欧州杯

ファンの関心を集める今年の男子ヨーロッパカップは10月第1ラウンド（6カード）で火ブタを切ったが、ルーマニア、東ドイツ、ハンガリーが今年は代表を送っていない。いずれもトップクラスのクラブをもつ国だけになんとも淋しい。理由は不明。

全日本学生選手権展望

真価問われる中央（関東秋季1位）

女子、日体追う東教大、甲子園

第14回（女子第7回）全日本学生選手権は11月3日から7日まで東京・駒沢屋内球技場で男子32、女子10校が参加、トーナメントで争われる。組み合せをみながら有力校を探ってみよう。（編集部）

雪じょくの斗志・日体大

◇男子　関東秋の覇者・中央を一番手にあげたい。リーグ戦で逆転優勝を飾りムードは最高。真価を問われる大会であることも充分承知しているようだ。

佐藤要、佐々木、白石、田中、佐藤要、小井土、GK井上らへ久々に花輪（全日本）が加る。

中央を追うのはやはり日体であろう。雪じょくの斗志に燃えており3年間保持しているインカレの王座まで簡単に明け渡すわけにはいくまい。氷海がオリンピック予選で抜けるのは痛いが松原、佐藤進、藤田、浅原、高橋精、松岡、岩下、新人・喜井、GK高橋誠ら豊富な陣容を誇る。

両校にせまる顔ぶれはなかなか多彩だ。関西で力を伸ばしている大阪体大、大阪経大の両校はなかでも注目される。

大経大×早稲田は1回戦屈指の好カード、この勝者に法政がからんで混戦模様となりそうだ。大経大の実力を知るうえに見逃せないゲームがつづこう。

大阪体大は比較的楽な相手で準々決勝まで進める。日体とは交流も多く興味ある一戦。

芝浦工大はただでさえ手うすなところへ新実、大江をナショナルにもっていかれ、森の退部が重った。京大、東教大とも力強さはないが侮れぬ粘り強さがあり緒戦から苦しいゲームを強いられよう。

地方勢の強者がDゾーンに固まった。松山商大（中四国）、東北大（東北）、名城（東海）、西南学院（九州）。中央、同志社という東西の壁を突き破れるかこの大会の一つの焦点といえよう。

このほか関学、立教、日大、中京らが上位を狙っており、新進校では京都産大、九州産大。東京学芸大も春季リーグのようなまとまりを示すと油断できない。

ダークホースは中京、大体大

◇女子　東西対抗（9月・名古屋）の結果からも関東勢優位が今年もつづくだろう。2連勝を狙う日体は永田、赤塚、木村、岩本、嶋田福田らの平均した得点力があるのが強味、GK大工原もいい。

問題は準決勝の東教大戦。東教大の進境はめざましいものがあり日体との差をジリジリせばめて来ている。韮沢、岡田、渡辺、継、畑中、GK松井らも秋季の善戦で自信を高めたろうしもつれそうだ。

東教大にとって緒戦の大体大は難敵。玉岡、岡のコンビ攻撃を軸に試合運びが巧い。

打倒関東に意欲を燃やす甲子園学院は、春季の低迷から脱し上り坂。辻、乗正房、和歌らの攻撃力がフルに発揮されれば宿望をとげるのも夢ではない。

東女体大、中京はかつての冴えがなくなったようでこの大会を足がかりに再び最上位を狙う態勢をととのえなおしてもらいたいものだ。東海春の勝者・中京女ももう一つ安定感に乏しい。

九州から初参加の福岡教大は持ち駒に不足はあるようだが健斗を期待しておこう。

男女とも学生界のレベルダウンがささやかれている時だけに内容的にも充実が望まれ、ましてや1週後にはオリンピック予選が開幕する。熱っぽい大会であって欲しい。

【男　子】

チーム	地区
日体	関東
仙台大	東北
福岡大	九州
関学	関西
愛教大	東海
国士館	関東
富山大	北信越
大阪体大	関西
東北学院	東北
立教	関東
山口大	中四国
京都産大	関西
法政	関東
岐阜大	東海
大阪経大	関西
早稲田	関東
芝浦工大	関東
京大	関西
金沢工大	北信越
東京教大	関東
九州産大	九州
甲南	関西
中京	東海
日大	関東
中央	関東
松山商大	中四国
東北大	東北
関西大	関西
名城	東海
東京学芸	関東
西南学院	九州
同志社	関西

【女　子】

チーム	地区
日体	関東
福岡教大	九州
中京女大	東海
東京教大	関東
大阪体大	関西
東京学芸	関東
中京	東海
日女体大	関東
甲子園学院	関西
東女体大	関東

東海は中京が全勝

東海学生秋季リーグ戦は10月16日から名古屋で行われた。男子1部は4勝同士の中京と名城の首位争いとなり中京が15—12で勝ち3シーズン連続23度目の優勝を飾った。

2部は中部工大が1位。女子は岐阜大が新加盟、4校によるリーグ戦の結果、春につづいて中京女大が全勝、2シーズン連続3度目の優勝をとげた（詳報次号）

各部すべて入れ替れる

▼関東学生各部入替戦（10月・駒沢）＝男子のみ

▽3・4部
独協（4部）16—13 茨城大（3部）

▽2・3部
一橋（3部）27—11 順天堂（2部）

▽1・2部
明治（2部）15（9—6、6—4）10 日大（1部）

◇関西男子入れ替え戦

▽1〜2部
関西大（2部）18（6—7、12—2）9 甲南（1部）
関大は2シーズンぶりで昇格

▽2〜3部
竜谷（2部）24—21 近畿大（3部）

積極的な底辺への施策期待

～「ミユンンへの道」に問う～

望月　伸三郎

（大阪高体連ハンドボール部専門委員長）

機関誌87号「ミュンヘンの道」に底辺の関心度について、本来なら警鐘とも言えるこの種の発言に、あまりの一人よがりには苦笑を禁じ得ないと題する一文について書きます。このことは多分、私の推測では、大阪高体連ハンドボール部専門委員長として大阪協会の機関誌にのせた文章からの御批判であろうと思いますので……但し、協会関係者と言いましたがナショナルチームについては一言も申しておりません。上層部の協会首脳者と底辺のプレーヤーとの感覚に大きな開きのあることを知って欲しかったのです。

日本ハンドボール界の現状としてオリンピックは勿論大切ですが、底辺の拡充から生れる花であって欲しいのです。スポーツ少年団活動ではハンドボール最大の人口をもっと言われる大阪の現状も、3・4年前に私の住んでいる枚方市が主催で大阪大会をお手伝いしたこともあり。少しは知っていますが、大阪協会は全然ノータッチと言っても過言ではありません。他府県ではどんなか知りませんが、大阪が一番多い現状では知れたものと言えましょう。

もう少しその辺について私の関係している高体連を通して眺めてみますと、48年度よりの高校新指導要領の球技種目であるバレー・バスケット・ラグビー・サッカー・ハンドボールのうち、バレー、バスケットの大阪高体連加盟チーム数は300余チームであります。

男子競技のみのラグビー・サッカーにしても100前後しているのにハンドボールは男女併せても90チーム（男60、女子30）。肩身の狭い思いをしているのですが、それでも全国高体連ハンドボール部の加盟チーム数では、愛知、東京に次いで第3番目です。更にこれが中体連、学連、実業団一般となると他種目競技団体の中には、高体連チームより多い中体連や実業団があると聞きますのに、ハンドボールは日本協会も地方協会も高校チームの登録が最多数を占めていることは残念でなりません。日本ハンドボール協会自身は底辺に対して、どんな方針なり施策を持ちどんな姿勢で望んでいるかを、「ミュンヘンへの道」のように掲載して欲しいのです。

日本の社会の中では、ハンドボールのナショナルチームの一員ということで、その価値を認める所は、ごく一部の部分ではないでしようか。現在は選手役員の自主的奉仕の協力で成り立っているとしたなら、継続は力なりと言った恒久策は生れ難いと言えようし、生活の保証も責任ももたずに勝つことのみの義務を押しつける結果を招くことになりはしないかと恐れるのです。

現在日本の労働のあり方は根本的なメスを入れられようとしています。労働省が今年から特に力を入れて指導しはじめた週休2日の実施であり、夏季休暇は一週間以上つづけて取れと言った問題と、労働人口不足、殊に若い人の求職条件の今年度の調査に依ると、週休2日が実施されているか否かが第一条件で、第2として夏休みは幾日続けて休めるか、であり今迄の賃金条件は第5番目に位置される現状です。労働時間の短縮は1日当の労働量の増大を招き、体力の問題も関連しますと共に、余暇時間の増大は、その活用方法としてスポーツの占める比重が大きくなることにつながります。更に今後15年間の日本経済の景気調整策として500兆円の財政投資、そのうち100兆円は社会福祉として、全国にプール3万ケ所をはじめ競技場体育館等を含む社会投資の面にあてると言われ、時を同じくして日本体育協会も今後10年間における39億円のスポーツ振興策の方針を発表したことなどを考え併せる時、西ドイツの黄金計画「第二の道」は将来のスポーツの歩む方向を示唆しているものと思います。天下100年の計を今、建てなければその為の底辺の施策でなければ「オリンピックへの道」は砂上の楼閣となることを恐れるのです。

更にもう一つ。中学校指導要領に「待った」のかかった時点の反省ですが、ハンドボール競技が如何に優秀なスポーツであるかの資料の不足であると聞いております。このような意味においても体力測定の項目の設置、中学校から高校、大学、実業団、一般までの系統的資料の集成についても考えていただきたいと思います。オリンピックは4年に1回、勝つことによって実績は残りますが、統計資料は1日1日の積重ねによる努力しかありません。しかしこれらの資料がハンドボールを志すヒントになり少年達に与える動機づけの意義は見過ごしに出来ません。ナショナル選手発掘、競技力向上結果、反省への資料として非常に重大な要素であります。その様な資料育成にどれだけ力を注ぎ、心を砕いて来たのか、個人や経験者のカンに頼り過ぎて、科学的トレーニングに手ぬかりはなかったか、改めてお聞きしたいのです。

底辺普及の指導者が最も求めているのは、経済的報酬でなく、精神的より所、これは一に将来への施策方針。二に資料による優秀性。三にオリンピックへの道ではなかろうかと思います。ナショナルチームの構成にしても、得点をあげる選手が基準の様な気が致しますが、チャンスメーカーの価値の、日本の社会全体が縁の下の力持を粗末に扱い過ぎる傾向というか時代の風潮に流れているのではないかと言いたいのです。その様な意味で底辺開発の努力者を発掘した取材などもどしどし載せて底辺に光の当るように機関誌には特にお願いしたいです。（投稿）

望月伸三郎氏の投稿、今後の日本ハンドボール界の進むべき方向に重大な示唆を与えていると思われます。編集部でも企画をたて、「ここでもこんな指導者が」……というような形でとりあげ、連載ものにしたいと思っていた矢先のことでした。編集部宛具体例をお送り下さい。

全日本**教職員選手権・研修会**報告

渡辺慶寿
（全日本教職員連盟理事）

会期　46年8月17日　会場　鹿児島県隼人町体育館、　参加者57名

研修会はまず田村正衛日本協会会長の挨拶ではじまり、同会長は「選手権大会開催にさきがけ教職連が研修会を今年も開くことはハンドボールの指導・体育・スポーツ指導にとって意義あるものであり、現場指導者が理論と実践を兼ね備えるということは真の指導者たる姿であろう」と強調された。

つづいて荒川清美日本協会理事長（当研修会育ての親）が「昨年につづき経験と科学の目を養い、真にハンドボール理論を習得して欲しい」と要望、さいごに山田計全日本教職連理事長が「この大会から真のハンドボールマンを育成し、広くハンドボール愛好者を育てる我々にとってこれ以上の機会はなく、今後もこの研修会を継続することによって、正しい認識と実践とをともに進めていきたい」と述べた。

続いて講演にうつり、最初にハンドボール協会医事担当で知られている広田公一先生に昨年にひきつづき、「ハンドボール選手の持久性その2」を講演願った。先生には初大会より欠さず講演を願っているもので、聴講した人達も何とはなしに親しみを感じ、その内容にひかれるのをみ感銘を受けた。　講演内容はごく最近 The new alsobics の書名を先生が翻訳しその内容をハンドボール選手の持久性を結びつけたものであり、全身持久性は生命の源（みなもと）であることを強調された。聴講した人達は口々にもっと内容を知りたいとの声があったが残念なことにこの講演内容はゆうに2時間以上はかかるもので、それを一時間でまとめられた先生の御苦労を痛切に感ずるものである。又資料が配布されたがこれもたらなかったことは残念である。機会があれば全国の皆様にお知らせできればと考えている。

続いて、ハンドボール界にとっては初めての心理部門を、東大助教授平田久雄先生に「スポーツと心理学～やる気について～」講演願った。

先生は特にスポーツの心理について興味をもたれ、また、体育指導者として実技を担当なされている方で、実践より体得された講演は我々にとって非常に興味あるものであった。特に指導者たるものは心理を追求することが最終目的であることを常日頃強調されている。先生の話しは、聴講者の心をとらえ、ひきずられていくものがあったことは、心理学者たるゆえんであるのであろうか。

最初に提案が先生より出され、指導者たる者は次の事柄をわきまえよということで、

① 進歩をわからせよ、
② チャレンジの機会を与えよ、
③ 競争の場面をつくれ、

以上の三つの提案がなされた。すなわち進歩のスポーツの面白さを味わせ選手、生徒に結果をわからせる様な指導テクニックを持つべきであることを話された。

この点我々が常日頃考えていることを単的に表現されたことはさすがであると感銘を受ける者もいた。

今大会でこの研修会も第3回教えるようなったが未だ研修会が大会参加する選手達（指導者）に浸透されていないことは残念である。本部よりの連絡が不充分であったのであろう大会参加の一義的なものとして考えてもよいのではないか。日頃我々が疑問としていることを議題として掲げ全員がそれを協議し指導に役立つことを考えてもよいと思う。

この会が単にやったということであってはならない又数少ない者の会であってはならない。次回より真に我々の会とせんために、我々の疑問あるいは解決された事例をこの機会に発表し我々の進歩の橋渡しとならんことを考え、各ブロック、各チームで真剣に討議して欲しいと考える。

何故大会に参加したか。大会の意義が何んであるのかを参加する者全員が考えなおす必要があると思う。将来この大会が女子の指導者部門そして中学校指導者部門、小学校指導部門へと発展することも決して夢ではない。その意味においてもっとしっかりした基盤を作り参加者への魅力あるもとしなければならないと思う。故に研修会の内容そしてそれに参加する心がまえを今一度考えなおす必要を痛切に感ずるものである。しかし今研修会の成果は今までにないものであったことは事実である。

最後に、講演をよくお引受け下さいました広田公一先生、平田久雄先生、そして大会の準備お世話下さいました。地元古市理事長などの皆様に感謝の意を表します。

また皆様にお詫びしなければならないことですが、これらの講演内容を研修会に参加されませんでした人達のために機関誌を通しお知らせ致しておりましたが今回は、録音の都合により集録出来ませんでしたので発表出来ないと思います。

もし、内容その他でお知りになりたい場合には直接私宛に御連絡下さい。以上、報告私見を終ります。（カット写真は今年の全日本教職員選手権開会式）

ワクナガ薬品が2連勝

各地の記録

第2回近畿実業団選手権(男子)は10月3、10日の2日間大阪・大淀中体育館に10チームが参加して行われ強豪が順当に勝ち進み、準決勝国体前の油ののった丸善石油が良くワクナガに喰い下ったが今一歩の力不足で及ばず、神戸製鋼、川崎重工に喰い下られるが丸善石油らもそれをよくふりきり、大山商会が成長ぶりを示した。決勝は前年同ようワクナガ薬品—大山商会の大阪同士で争われた。ワクナガは立ちあがりから鋭い攻撃と固い守りで大山につけいるスキを与えず快勝、危気なく2連勝した。

▽1回戦

神戸製鋼(兵庫) 32（19 13－3 3）6 美津濃(大阪)

丸善石油下津(和歌山) 34（19 15－0 1）0 日立マクセル(大阪)

▽準々決勝

大山商会(大阪) 15（9 6－6 4）10 京都信用金庫

川崎重工(神戸) 35（17 18－8 8）16 大阪ガス

ワクナガ薬品(大阪) 35（7 20－7 9）13 富士レジン工業(兵庫)

丸善石油下津 20（7 13－7 11）18 神戸製鋼

▽準決勝

大山商会 24（11 13－11 8）19 川崎重工

ワクナガ薬品 23（10 13－10 7）17 丸善石油下津

▽三位決定戦

丸善石油 19（8 11－7 11）18 川崎重工

▽決勝

ワクナガ薬品 23（11 12－4 3）7 大山商会

【大山】	得		【ワク】	得
川原	0	GK	今井	0
越智	0	GK	国本	0
中村	0	FP	菅	0
奥川	1	FP	森	5
前島	0	FP	高橋	7
佐藤	4	FP	戸田	3
伊藤	1	FP	松井	1
山口	0	FP	藤中	1
梅尾	1	FP	田中	6
花谷	0	FP	杉野	0

23（1） 7MT （1） 7

審判＝高倉，田中

▽敗者トーナメント1次戦

美津濃 16—10 日立マクセル

▽同2次戦

富士レジン 28—11 美津濃

京都信用金庫 33—13 大阪ガス

▽同3次戦（決勝）

富士レジン 22—18 京都信用金庫

得失点差で青森ク

女子は全岩手が3度目

第24回東北選手権は9月10、11日、山形・東根工球技場に男子6女子4チームが参加して開かれた。

男子は第1次戦の勝者3チームが決勝リーグを争った結果、三すくみとなり得失点差で青森クが初優勝、東北学院大OB（宮城）の9連勝（TGク時代通算）は成らなかった。

女子はトーナメントで行われ全岩手が東北ムネカタ（福島）を降した勢いで、決勝でも宿敵全和洋（秋田）を押しまくり2年ぶり3度目の栄冠を握った。

▽男子第1次戦

盛岡商友会(岩手) 16—12 SGク(福島)

青森ク 23—21 湯沢ク(秋田)（第2延長）

東北学院大OB(宮城) 29—7 東根球友会(山形)

▽同決勝リーグ

盛岡商友会 16（8 8－8 5）13 青森ク

青森ク 19（10 9－6 5）11 東北学院大OB

東北学院大OB 12（6 6－4 3）7 盛岡商友会

【順位】①青森ク得失点差5②盛岡商友会マイナス2③東北学院大OBマイナス3

▽女子1回戦（＝準決勝）

全岩手 7（3 4－1 3）4 東北ムネカタ(福島)

全和洋(秋田) 12（8 4－2 0）4 宮城三女OG

▽同決勝

全岩手 10（4 6－3 2）5 全和洋

大同、トヨタ車体かわす

▼第19回愛知県実業団リーグ（9月・名古屋市体育館）

▽1部

三友工業 20—13 日本碍子

トヨタ車体 17—10 三友工業

新日本製鉄 25—9 日本碍子

日本碍子 26—22 パイロット

三友工業 22—12 パイロット

大同製鋼 30—10 パイロット

大同製鋼 18—11 三友工業

トヨタ車体 21—15 新日本製鉄

大同製鋼 24—12 日本碍子

トヨタ車体 34—12 パイロット

大同製鋼 16（分）16 新日本製鉄

新日本製鉄 12（分）12 三友工業

新日本製鉄 33—13 パイロット

トヨタ車体 36—9 日本碍子

大同製鋼 11—9 トヨタ車体

【順位】①大同製鋼4勝1分②トヨタ車体4勝1敗③新日本製鉄2勝2敗1分④三友工業⑤日本碍子⑥パイロットインキ

【2部順位】①トヨタ自工②ブラザー工業③豊田工機④タヨシ産業⑤トヨタ学園⑥三菱重工⑦中部電力

全倉敷が優勝飾る

▼第26回岡山県民体育大会ハンドボール競技（8月・倉敷）

▽一般男子1回戦（2試合）

九州耐火 10—9 落合ク

全倉敷 20—17 天城ク

▽同準決勝

児島柏会 23—16 九州耐火

全倉敷 25—17 川崎製鉄

▽同決勝

全倉敷 30（19 11－4 8）12 児島柏会

▽一般女子決勝

真備OG 15（9 6－4 3）7 井原OG

全日本実連より要望

全日本実業団連盟では先の理事会で47年度行事日程を次のように決定したが、開催地が決っていないので現在探している。開催可能な都道府県がありましたら全日本実連又は日本協会まで早目に申出てください。

男子トーナメント……6月18日(日)～21日（水）又は6月25日(日)～28日(水)。参加チームは32。

男子リーグ……9月20日（水）～24日（日）又は9月27日（水）10月1日(日)。参加チームは8。

▼奈良県高校総体ハンドボール（10月・添上高）

▽男子準々決勝

桜井商A 27—12 正強

生駒 不戦勝 十津川A

添上A 13—5 東大寺

榛原 14—7 添上B

▽同準決勝

添上A 12—9 桜井商A

生駒 11—9 榛原

▽同決勝

添上A 8（3 5－4 3）7 生駒

▽女子1回戦（2試合）

添上 不戦勝 十津川

桜井商 6—1 郡山

▽同準決勝

添上 21—2 奈良文化女短大付

生駒 8－2 桜井商
▽同決勝
生駒 6（4－2、2－4、0－0 引き分け）6 添上

B・Sタイヤが勝つ

▼第6回久留米市（福岡）選手権（9月・久留米工）
▽一般男子1回戦
久留米工業学園ク 21－12 久留米工業短大
南筑OB 12－8 明善ク
▽同準決勝
ブリジストン・タイヤ 15－6 南筑OB
幹部候補生学校 17－16 久留米工業学園ク
▽同決勝
ブリジストン・タイヤ 15－11 幹部候補生学校
▽同女子準決勝
明善ク 17－1 南筑ク
古賀愛球ク 13－2 信愛ク
▽同決勝
古賀愛球ク 11－9 明善ク
▽高校男子決勝
久留米工 25－2 明善
▽同女子決勝
明善 22－0 信愛女学院

トヨタの町でもリーグ戦

▼第2回刈谷市（愛知）リーグ（9月・トヨタ車体体育館）
▽男子5位決定戦
刈谷南中OB 15－10 豊田工機
▽同決勝リーグ
昭和ク 16－10 トヨタ・ク
トヨタ車体 26－8 刈谷高
昭和ク 11－9 刈谷高
トヨタ車体 29－7 昭和ク
トヨタ・ク 22－18 刈谷高
トヨタ車体 23－6 トヨタ・ク
【順位】①トヨタ車体（2連勝）②昭和ク③トヨタ・ク④刈谷高
▽女子
愛知教大 4－3 豊田工機
刈谷南中OG 8－6 刈谷北高
羽谷北高 12－5 刈谷北高OG
刈谷南中OG 11－6 豊田工機
愛知教大 4－2 刈谷北高OG
豊田工機 8－1 刈谷北高
愛知教大 10－2 刈谷南中OG
刈谷北高OG 7－3 豊田工機
愛知教大 14－1 刈谷北高
刈谷南中OG 10－5 刈谷北高OG
【順位】①愛知教大（初優勝）②刈谷南中OG③豊田工機④羽谷北高OG⑤刈谷北高

鰺ケ沢と青森西

▼第21回青森県高校秋季選手権（10月・七戸高体育館）
▽男子予選リーグA組
鰺ケ沢 35－4 七戸
鰺ケ沢 24－11 青森
七戸 9－5 青森
▽同B組
柏木農 11－5 三本木
柏木農 21－4 青森東
三本木 12－8 青森東
▽同C組
十和田工 18－12 弘前南
弘前南 22－7 青森商
十和田工 22－9 青森商
▽同決勝リーグ
鰺ケ沢 15－6 十和田工
柏木農 22－8 十和田工
鰺ケ沢 9－8 柏木農
▽同女子決勝リーグ
青森西 12－6 三本木
三本木 9－5 七戸
青森西 11－1 青森
七戸 9－8 青森
三本木 10－1 青森
青森西 16－1 七戸
【順位】①青森西②三本木③七戸④青森

男子で市川が進出

▼千葉県高校新人戦（10月・東邦高）
▽男子準々決勝
市川 11－3 佐原
小金 12－7 清水
八千代 15－9 東葛飾
木更津 18－2 国府台
▽同準決勝
市川 19－8 小金
八千代 13－10 木更津
▽同決勝
市川 10（4－5、6－3）8 八千代
▽女子準決勝（＝1回戦）
昭和学院 12－1 東邦
佐原女 8－0 八千代
▽同決勝
昭和学院 3（3－0、0－1）2 佐原女

編集後記

この雑誌がお手許に届く頃には、韓国から、イスラエルから、オリンピック予選のために選手団が羽田についていることでしよう。審判団もヨーロッパからはるばる空路やってきたころでしよう。

全日本女子はヨーロッパ諸国も転戦中でしよう。

国内でも、ヨーロッパでも、世界の最上位を争ういわば国と国との争いがくりひろげられている時こういつた動きとは無関係に、初雪のチラついているグランドの片隅で、また秋というには、暑い日射しの南の小島で、毎日々々同じことがくりかえされている、練習そしてチーム作り、あるいは試合開催に忙がしくたち働いている人々が多勢いることにも思いを果せる必要がありましよう。

こういつた意味において、今月の望月伸三郎氏の投稿は、オリンピック、オリンピックと湧きたつている国内の動向に対して一つの方向を示唆されている点で大きな意義があつたものと考えられます。

オリンピック、それは現在の日本のハンドボール界の頂点のレベルがどこに達っしているか知る一つの導標みたいなものではないでしようか。日本のハンドボール界にとって、確に大きなことには違いがないでしようが、日本ハンドボール協会にとって、オリンピックに出場し、好成績を残すことだけが目的ではない筈です。オリンピックはあくまでも手段でしかない筈です。ハンドボール協会の目標はハンドボールが正当に理解され、正しい競技概念が種々の意味において人々の中に浸透していくことである筈です。

そのためには、いろいろな道があるでしよう。オリンピックに出場し、好成績を挙げ、いわば上から理解を深めるというのも一つの方法でしよう。またある町にじっくりと腰をすえ、正に底辺から理解をしてもらうというのも一つの方法でしよう。

どちらの方法が有効かなどというのはナンセンスな議論です。

本誌も決っして、上からの、現在でいえばオリンピックばかり、追いかけているのではありません。

各地で地味に普及をなさっている方々、資料作りをなさっている方々のことを忘れている訳ではありません。今後積極的にそのような具体例を掲載していくつもりです。読者の皆様の協力を切します。どしどし投稿を

（TF）

'71

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第九十二号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可
昭和四十六年十月二十五日印刷
昭和四十六年十一月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都　神南一-一-一
電話 大代表(467)三一一一
振替東京五八三四八番
編集兼発行人 保坂周助
定価百五十円
(年間購読11回・千二百円)